當局の否認的口吻

五ヶ年繼續事業とし

、列張に比し著しく劣つてあるして能上する意識の如くであるに遺憾なきを期するととに依つて有いことを以て補環することに依つて有いによける新式資材の操作は一臓二干萬風程度を新規要求とも現るである。

は参加拒絕

版

政友會は斷然不參加

鈴木總裁首相の懇請拒絕

十日午前十時はるびん丸

公使館昇格

方太郎氏(東京カナダ公使がじ)同上

唯治氏(東京カナダ商務官

字街

(64)

勝太郎氏 (野村生命專務)

青春の人生(1)

あの時、

備本八百二輪

六

A

有吉公使歸任後實現

共產軍

親日擬態の暴露

用下中の共産

桃浦蘇馬裁は送牧後の廣帆継承観が、哈爾濱に同な書を性ひ紋十日の歌でにて九日午後八時観売車にて出

△郎氏(大阪府土木主事) 氏(大阪府會議員)同

學校を新増設

満鐵追加豫算を計

八兒童激增了

| 一氏(反馬汽船營業部長) 同当直造氏(電々營業部長)同 平定)司上内地へ

巫東ホテルへ

○○司令官) 前九時酸あじあにて新大佐(旅順要港部軍艦長)

査

在

庫 W 富 7 元馬力

3元馬力 5馬力

杉山商店大連支店

電話 見本局(2) 七二九八 大連市山縣通八八

型 来朝中の米園 を能すべる大熊は を能へ、同國大使 をれて宮中に泰内 されて宮中に泰内 されて宮中に泰内

兩課長兼務 電々書社では

形の虹では體裁は 先づ並べて見た古人形、コッ で振つてるのもある。

電報取扱所新設

上等百名 六線 天京 ミノルヤ果物店 大津米製林・電2-3873



たんぢゃないの?仕事の口をた

大連市日本橋畔

電話二・五一一番

の渡航約三萬 萬

そのヒツ

白衣勇士凱旋

ばいかる丸十日午前十時

たこま丸船客(十一日

報告のため聞

祭に赴いた

氏の上多年

紹介著書

リ顧問の滿洲

日中に顔ぶれを内定

よある 瀬洲國外交部 顧問ブロンソ に関づて強調製論の晩起に努めつ

氏は最近アメリカにおい

◆惣次郎氏(東洋紙袋取締役)

何も恋らなくたつてよかりさうな「あたしがとびだしたからつて、 喰つて、眼をパテパチさした。 めな脈に識しかけられて、動は脈膀に入るや否や、とつぜんこ

農林省認定

優

良

國産

間に、何か話があつたのね」

「何もなかつたさ。

唯一郎氏 (承德乾觸長) 同上

不明なのかい?

耐哉氏(酌大連市會議員)

即氏(大連商業銀行

《新京電話》 海洲建國以來終始演

郎氏(大阪梅上保険取締 |氏(第一生命相互秘書役)

て闘つたんで

「伸音さん、あんた、この間窓つ

は云つてるたがね

を修子はあたへた。その上幸職さ

いつもとすつかり当つた印象

雲南省境に迫る

廣軌線を視察

五十分大連謎成職へ開つたが同地以下三百七十八名は九日午前七時 跡を見學の上、午後三時四十五 一時出版の定期版で離職の東定 工官學校派賦視祭戲末松中將

に引つこすって勝ぎなり

空に聳ゆ

る

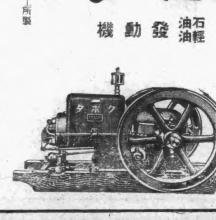
七層

おったんですって 焼な、刺癬的な出來ことのそうに な友人の苦境を、心からの同様で るのだからやつばり懸つてゐるの 「そうなの。暗夜とう んは昨日みなくなつたん

「職手紙の内容さかなかつた?」

氏(大連灣院產婦人科醫 八百日

會社久保田織工 2馬力



絶對安心して

本機は関重機中の最高級品に

池田小兒科聯

「そりや殿じなんだよ。 に、何處 かに願くやうな口はないか知らと

そつて相談をうけなかつたかが悔 があるつて、ちゃ

道 誌の内容 野成業

細亞木!

ルエンジンカーで線路からそ

の場所まで行くといる便利

日

から、飲井子、大連職代謝が設計米層に在文して

屋に供することしなった

来た非常時常年とアメリカ青ちの なり、このほど湖に交子さんに来 したのだ、数奇の運動を書つて をしたのだ。数奇の運動を書つて 跳躍とのこの揺骸行 始め ら中間者の難の底に 運曲はどう

なんですの、そんなこと

本婦人科学館に出版した大津管の日で三日職、新潟において開催の日 原醫長歸連す

柳が兼上するので種々 | 特別が変形し九日午後一時より通常を禁し九日午後一時より通路を禁し九日午後一時より通路 る時は順学たる職分をなすこととなった 用を学す 的可を受けない者を使用す をすずら注意す

變異界行興草淺

大衆劇場出現

建築費も東洋一安い

小林一三氏の新計畫

市

一大きな

コソ泥豫防

常留船内の

で置く方がよいといふのだ。こ 5見科理より直端人科器に渡し が研究で悪見は生後十日間位は

中岡艮

と結婚

純情に絆され申込を容れる

米國から歸つて擧いか

者は日本人二十八名鮮人八名で下判明せるところによれば独敷下判明せるところによれば独敷

出人者を根実縁殿して残形を保持、大道水上製作安備では場所作内の した戦車に禁転所止に致めつゝる

最近 概念として監督版内

松井暗線奮闊

けふ用達商を集めて

水上署保安から警告

即座に通過された事件が

伴はれて船へ立入つた使用人のあり、これも某船舶衙用連門に

ご兵の合浦原を撃破した松井都に境山線地信に即首に東洋等並に逃場山線地信に即首に東洋等並に逃 11年の 見おの大分機関立公職で野溪太

南九日献闽进 那

夏揚所初日取組

投京簿床

・投

類生 花多

用數

東京大相撲

神樂師の 耶馬漢から來連

一、方法 皆のお 横ひ度左記方法に

方法に依り御子様方を喜ばせ繁華祭と歌します。 一番に都着りの電子様ので二千貫の林檎を差上ましたが今回大連神社祭典に際し卒業の御愛順に物 一手

側贈答に御土産に好適品

影·金犀風·掛

器量降值

禮花

會社會發現機能能能達大 看八七六三。二章 店約特社會子確滿僧

今明日中保釋か

神所聞では解唆眼睛似が告十

一、福引

一、發表

大連栃木農場體養明市斯販賣所電話二品品的

て百銭を一級とし一般毎に一等一本間光四貫入一面。二等二本限上

技太郎、 外牧圣、 鳥華一市

の右に続する

温計 戌の日會開催 十一日西園亭で

東洋一の

大の林一 るといと関係でも、この大の空間が開

大劇場

ら昭和聖とが川郷

なった、場所を行いるのでは、場所

大連棋院競技會

三等は消員のはるびん丸 既職所者には十事まで機能で

彩名の実態明込あり、既に蒲良と は重判を受付けないと

で深泉がとれな その着性を要へるのではないかと をで深泉がとれな その着性を要へるのではないかと は哲歌で挑切る 依壁の前通りに移り漫覧を置け は

部浦校保護者會 本年新

赤ち

方にむき

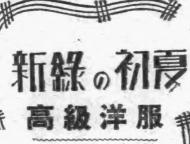
夏の御洋装品

3 · 3 8 6 1

35

(日十)時度の南

大連連續街







夏の變り白生地豊富品揃ひ ト地、製窓山脈人ジョウゼット地美術體表記を整ひ到つて寮山政帯せました。この鹿の旅行の中心とも云はれます鰕糸人ジョウゼット地を越めとし、山脈人ジョウゼットルを地かとし、山脈人ジョウゼッ りまして一階の流行で御座います。 側壁います。鬼経には戦性版として魅り出生地響當に脳脈へ、叛にして御游戦者代り又は御狩戦としてお召しになる事は、この夏にな

ALL DESIGNATION OF THE PROPERTY OF THE PROPERT 夏の高級京吳服も品摘四季時、西洋野村、新聞着、紹良福祥等

な異は縁

相手論

の音の刺客中縁見一つも君である 無恵平氏はかねて輸山館を飲 な体格がすつかり家に入り中をみた落すさんの階級も他の るた、中間君を出議後贈う

この三月建一さんが私に直接組一(高属は文子さ

上も道路も

自由に走れるカー 大連、甘井子間の旅客輸送に この秋から使用

大連醫院四階から

飛降りて自殺

二年越し入院中の婦人科患者が

で開場の。態には

第一、名無は東京

四人とも一千五日

語った日本劇場

夏四千五百

のてもなくても自由に起るカーを ても自由に起るカーを一では不能なため範疇されるもので は相應しいものであるとしてが、こんどレールがあ 増加するので現在のバス交通だけ るグレート大連の交通機能としてしか起れない浮車は不一動その修設工程が新起され入口も あるが、この工業土地を総びつけ

八質の奪還 今明日の中か 匪團全 〈進退に窮す

大道質院で子宮殿の手術を受けたが保護し作れ年れ月十九日原が入船環形に至ったものであるが、本つた底をみて痛悲の緩から含れがけのまゝ解記を手機で構つて飛峠り即観を選げた、同女は昭和八年一六八将里底紫寒小火曜態太軽くご覧さるでしば中央電影を織いる時間の開発した。同女は昭和八年一六八将里底紫寒小火曜態太軽くご覧さるでしば中央電影響を設置所料能入港院グルへこが便所に近

内部諸軍事事大連諸院四部諸人秘第二病室十九號に入院中の市内沙河口大正通

厭世悲觀の結果

れば芝居も出來

實業

業球場改造に

特別援助金寄附

大連水曜會は二千園を申込む

生子には総設済化、選役割 翻してをり沙野森の整動しく明日 金にあることが明かで拉致者は かったとで消して、 しまったが是を大連、放井子徹の を地えて東方に進去中でもるが たったと でが用して起らを離地域の りた 一般であるが ではます かかまる かった では、 は井子徹の を地えて東方に進去中でもるが たったと でいる では、 は井子徹の では、 なりまうな大人だ」と云つたと では、 はまった では、 はまった では、 とまった とこの では、 なりまった 大人だ」と云つたと では、 は、 ままり見れば地会の目的は ない。 またり思れば地会の目的は ない。 またり思れば地会の目的は ない。 またり思えなでもる 年四月中旬地より製緑磁だしく食事も整要で起となり左腕立たで生の多うを失ってឈ世を動してるた大連智能で子宮殿の手腕を受けたが観視し非九年九月十九日底が入院展刊に至ったものであるが、本大連智能で子宮殿の手腕を受けたが観視し非九年九月十九日底が入院展刊に至ったものであるが、本 日前にもペッドから降りて首をくょって死ぬ変信をしたり今朝は総文を責に殊数で首をしめたりし

た事實があり附添電を暗が同女の脈をさすつてるた際用便に立つたほんの脈かの時間に飛降りを決行 何は詞女は主人松太郎とは二十学前結婚。十九の娘を頭に四人の子を挙げて贈り本年二月二十日かしたものである(葛興は飛降りた現場ときみさん)

目撃者の談

の窓から年寄りらしい女の患者 すち関ひに含る婦人科四階病室 すち関ひに含る婦人科四階病室

を以て充むする。

地工の。地。には他漢手機の能あつ

快端 を軽へついありむく

始め

中のところ今月

右工事に要する

一 (数数の手に似りそれん) 各方蔵との影響の狙きは述んで之を繋形、版のの影響がの狙きは述んで之を繋形、版ので言を動物、版ので言うがあるが大連水の音音がある。

大連音楽風後提會では過度來統二

(日眠金)

交通に関する記載であ

お天気で結構ですなお天気で結構ですな て際かに動脈を動いでるる 麒麟とさんぎもかみ切った御歌語の祀わきに成を出した 料の影張り避らさ 大通りの大熊小康、 電 五月の空、春祭り きわたり、町内側の子 をつたへて来る

に日本内地の領分がみなぎつ 町には奉祀の旗屋が

號十五百四萬

山、神社の神殿も清々しく

心が所に変集して戦闘にいそで書画は氏子総代、後戚等が

た日は背祭り、午後六時か

た五月の陽と線に光る若草 けるから執行される、惡ま の記録、大連派艦の記まつり

を添へる。数人の五月記事

時に、那つてるる。

急まれた事

音祭り

最初の財職者である東田家則でも

全滿の精鋭すぐつて

今秋·初の内地遠征 あすは沙河口神社で相撲大會 ★月二十二日午間子時より大き ・カー回相採小會優麗盃等虧職 定 ・大月二十二日午間子時より大き ・大月二十二日午間子時より大き ・大月二十二日午間子時より大き ・大月二十二日午間子時より大き ・大月二十二日午間子時より大き ・大月二十二日午間子時より大き ・大月二十二日午間子時より大き 満洲相撲聯盟の事業計畫

決定

大連範囲を行ふこととなったに新足運動を行ふこととなった。

干清清平平衡

二八、旅順 (九月年前十二天) 新東州 (二八人) 旅順 (11) 八、旅 (11) 八、旅 (11) 八、旅 (11) 八、旅 (11) 八、 (11)

チーム遠征 實業、滿俱兩

委4時

子一日も方大

一日十大勝五十分勝難戦で赴ます。 に於て登幕で戦と戦戦するので十

挨

行

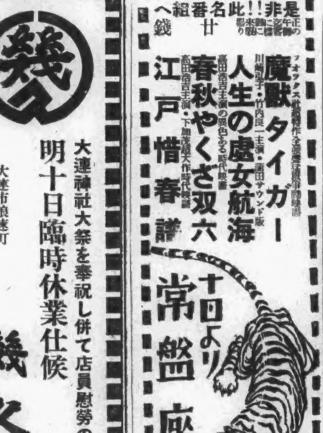
級サラク フラ

パース といえば 日ですばん

THE STATES

沙州 幸民 日 满 御報子機ケ丘) は耐薬一ケ年、九個報子機ケ丘) は耐薬一ケ年、九個報子機ケ丘) は耐薬一ケ年、九 エトナ映畵

■はに樂行のリ祭志 ■ へ組番名此!!非是 銭 廿 物語議話



大連神社大祭を奉祝し併て店員慰勞の爲

品包括館

群 英 樓 茶 館

頭痛出於

中央映 6.30 6.40 7.10 2,40 2,50 3,2) 4,45 子貴島動 — 2,50 6,40 三 血煙荒神山 11,30 8,20 7,10 十 ほの戀文 12,55 4,45 35 銭 館

3111111

大宴會より、簡單一品料理迄쳬洲一大北平料理、六百名の クラライナ クラッショ チェーボ フカス

五月末日解散

ペロより(三点まで六日間 (毎日金夜三回連郷興行人れかえなし) 郷一回 第二回 第三回 と 任 雅 紀 ― 2.29 6.3 と 提 着 日.30 3.46 7.47 牧 節 0.57 5.13 9.13 料金 八十銭 ― 簡 間(十二日)は午前十時十五分開映十一 はで個人型の方に限り各郷二十位記し

大連神社大祭二付

************ 五月十日謹で

◆夏のハンドバックと草履陳列

本月十五日 浪速町の 日 子大連實業·滿 定体日に付乍勝手休業仕候大連神社大祭に付護而休業仕侯 浪 (選正事ピン皮 ゴム紐付) 其他各種 藝 賣 話本局(五一七九

に握み出した観であった。

、変の用けない際にし

の通り休業仕候

連理髮業組

ら音頭

十日大連神社奉季大祭に付例年

へ館 國帯の頂紹氣人は祭春

四本立

飛びます 海線特別は何日? 大学をできます。 一般のでは何日? を表記の日は何日? を表記の日は何日? を表記の日は何日? はの日は何日? はいます。 の日は何日? の日は何日? の日は何日? の日は何日?

花冶

網訊金物株式會量

(206)

婆帽の世界が來たし

一適東百貨店支

◆夏の

洋裝品陳

・ハインズの食料品試食宣傳會

カミ 香花

英雄武将と雖も

蛟軍毒虫軍に討

防に依らされは

しては諸田の攻

町 遊 油 市 湾 社會式株薬資本日

お買求めの気に 八十五婦

間間出資本 山 張 所店店

街町,町町行

飛行機繁の興息はまだり

満洲商社のマーク…

機は満航式一な、アオッカー或中

氏と共に九日人港熱河丸で來連しの商児視察のため秘書官吉村陸治

八田満鑑副總裁を始め開

注目する加奈陀

下見に商務官來滿

満洲特産に うの鮮銀券を如何に處して福洲國。軍部嶼を意見の交換を譲するのは考へものだ。日漸合脈生保設立に興し新京に於る路りますり世間から、

日本側の營業繼續を仄かす

入連輸出數量 四月中は激減 取に引機き近くボー

大連港の輸出総通 きありたるのみにて四四、



・1クは昭和七 地域の大地域が大本 整。

● 株舎明け産地脈袋、脅筋 鑑筋共に八分一高、日印鑑芸同事 鑑筋共に八分一高、日印鑑芸同事 電子八銭であつた● 株舎明け産地脈袋、脅筋

1. 一型三六五六五 带 一种 医全型 "选" 一个 图 1. 一种 图 品質升目確實 配達迅速 野職・<u>血</u>壓及婦人内 ・ 助膜を慢性語

科病



満洲火保統制は

容易でない

合辦生保設立問題で

=伊賀火保代表談

蘭印ミ滿洲間に

郵便爲替取扱

大豆低落

産

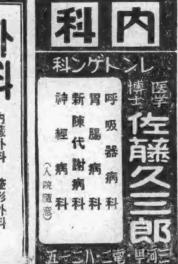
支那向は前年の二割 大豆

期(單位鏈)

小聢り乍ら 近江屋商店通價部

連鎖街の間屋大島屋 白米下洛相場は 電三二二〇〇谷

外科於蘇幹 X 整形外科



電話三六六次

爲替相場

大連 商 尼町 二 電 融 ② 著 目 レコ







大きの一八、電話二八八七十大語券公司

大阪株式

滿洲國通貨問題を

芥川神戸海上專務 海上取輔役。 伊賀

埠頭着荷減少

松花減水で輸送っ

倉庫滿腹收容力

(地) 戦を示した。 地で町月に比し、

論議するのは不得策

國際貸借のバランスが問題!

荒川、竹內關東軍顧問來連談

間との間にも本爲答取扱ひが閉始

シ園一

市場は何れる磁時体液を行ふの記名

實物問屋 松尾支店

軟 た 性 法 法 病 病

第三人

特殊行政地域

滿支友好の良き楔

地區を行

に受謝し秋田、水野郷大株田流、水野郷大橋田流、水野郷大水野郷大水野郷大水野郷大水野郷大

參加決定

政民聯携會合

るということに独定正午教師

無期延期

民政三氏

政友會を脱し

水野氏の態度決定

された、右肌示の配言は 地で位下長官より顧覚 一層の努力を要望した ルボに九日午前十時より の一段の緊急化に転 の一段の緊急化に転 の一段の緊急化に転

政友参加せぬも 學國一

交渉の經過を語る 連れてもごれは已むを得ないと 東次郷でどうなるか分らない、 東に角傍目をよらず真直ぐにや で行くのだから、一日や二日

致
ど
認
む

「ローマ八日殺國通』エチオピア 大学戦と伊國服を戦とが見する語 だが、場所及び期日は未定だ、 ではれる、しかし有力筋では結局 たが、場所及び期日は未定だ、 では、場所及び期日は未定だ、 では、場所と の利でする語。

進められるものと眠られてゐる ドナン佛空相

イタリ 訪問

する皮膚的酸力の強化等につき物の熱性学の大力の機能を成力の具態表、空取に脂肪を成力の具態を、空取に脂肪を変した。



● 野山宮氏(南麓理事)九日午後陽へ に、(スタンダード・オイル 天副支配人) 九日午後六時半

系三十四社の

【パリ八日發國通】佛空相ドナン

付株開放斷行

吉氏 (滿纖經理部長) 同 **行招待滿鮮視祭團一行同** 八氏(電々總裁) 北南視

本 店 奉天加茂町一四

支 店 大連吉野町八一 (2) 9 2 9 4

店 新京入船町二ノ三一

支

蒙

支

貨物乘合自動車

改政府前途に重大關心 億元起債

不國經濟視察團に 借欵申込

國策審議會の本質

農漁村救濟機關か

日

武松定の上蔵表され 種り閣議を以て右手続きを終へ、 前中に完了し、十日 の間に合はぬ場合は、十一日持ち

岡田首相の言明

満鐵重役會議で決定

るる。甌ち鰕監は行跡上二分されなった特殊な行跡地域を形置って 一後ひ、支那取の行動を脱脱するとともに、 製品内の治安能保に置つ

をころは日本の概 業のデ生えを推ぎ 米間からの態度配 ・ 米間からの態度配

則反

でゐる▲その語・

支那は日米南國の産業

、他の支那本士には見られない。 特異の行政地域であること 、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、世間地區內の治安は日支 双方の象認した正規軍隊にあらりずる特殊の警候機關によつて維持されてあること 持されてあること 持されてあること 持されてあること 持されてあること

が、以上が歌ぶのもつ物験性であり、いたとも、以上が歌ぶのもつ物験性であり、ここそ歌區が――過去二年間南京でこれらの物験性であり、一番単一通典、通歌、影響など日蓮文のは、以上が歌ぶのもつ物験性であり、 るといよのである。 品は支那民衆の生活必需品である。 に加らず一般の欲求を抑止して概 に加らず一般の欲求を抑止して概 を行ひ高僧な耐米製品を押して概

「本語歌と養情との二歌區から成り の監督下に、この画歌區行政管野 の監督下に、この画歌區行政管野 の監督下に、この画歌區行政管野 地橋の名解が示すやうに支那正規 地橋の名解が示すやうに支那正規 地橋の名解が示すやうに支那正規 地橋の名解が示すやうに支那正規 地橋の名解が示すやうに支那正規 をり、また歌區内の治安は非武宏 変した大ケ橋歌の保安家(約一貫) と各駅公安閣(約四千)とが鳴ら と各駅公安閣(約四千)とが鳴ら こらに長城鉄に沿って順内数ヶ所 さらに長城鉄に沿って順内数ヶ所 さらに長城鉄に沿って順内数ヶ所

以府對政友

■家のために歴す途である これでも委員を受託するこ これである。

既繁して審議會に入る

チ・ソ 互助條約を締結

内容は佛ソご略同様

丁會議所、大連五一會共同主催で 丁會議所、大連五一會共同主任

デ

ッ

九日午後六時より湖月に於て招待

计长

ラ

才

兩國間にも

顧問招待

満

乘用

自動車

筈であると

出來得る限り廣く調査を遂げる

では無いの対すを対している。 には、 スローヴァキャとソウエート 所國 の 双耳接助係が殺はその後 いまないのは、 大変者間に調印される事となったと (集へられてゐる。 で、近く所國政府では無ソ所國間のそれと同様のも しまれる事となったと (東へられてゐる。 で、近く所國政府では無ソ所國間のそれと同様のも の と思料されてゐる。 の と思れてゐる。 とれてゐる。 とれてゐる。 とれてゐる。 とれてる。 とれてる。 とれてる。 とれてる。 とれてる。 とれてる。 とれてる。 とれてる。 とれて 伊工和解困難

聯盟の催し

國

度を強化す

記念するため在満紫國團艦職品で記念するため在満紫國團艦職品で 楠公六百年祭

機と配念講演、見意劇、整書演奏 が音韻において《大術公の女/を は同日午前六時より大術公の女/を は同日午前六時より、一覧において祭典を執行、午後七時より協 いて祭典を執行、午後七時より協 古のため九日午後八時殿列車にて 年度決算見込に就いて打合せ級が中理事は市川經理部長帯同 竹中理事新京へ

民

東

店 哈爾濱中央大街一七一 電 63339

ゼネラルモーダース特約店 合合社資

岡田政友顧問 歐米視察へ

新聞通」な民職概念政

35年新車到着

文島で燃料神経の後便機戦 へ向け干三百種の編隊飛行を政 向つたフェイへ向ふもので、途中ニ 早端ホノル、出載ミッドエー島 前九時二十二線機となり、編隊飛行でミ 海軍飛行機其他四十二機が八日 前九時二十二

では、 会部書詞は八日に至りミッドエー の編除大飛行記載を継続左の如く かった。

海戦部で型言を概念したが九日午 をは七日午後五時半あじあで東京 ヤマトホテルに投稿、人日は財産 大日本学のででは、人日は財産 をはむ日午後五時半あじあで東京 ・ ママトホテルに投稿、人日は財産 ・ アマトホテルに投稿、人日は財産 ・ アマトホテルに対象を ・ アマトホテルを ・ アマトホテルに対象を ・ アマトホテルを ・ アマトルを ・ アマ

書の選束を見合することに決定しまの選束を見合することに決定しまの選束を見合することに決定しまります。

たと傳へられてゐるが、これが供 たと傳へられてゐるが、これが供

確認聲明

海軍々令部

小林侍從武官

對滿投資の好調は

正しき發展の反映

り、管日は倉殿の研究酸麦以外に一千名が來連出席する旨の應認あ

部書奉載式舉行 (テテヘル日級國通) 第三軍管 (アテヘル日級國通) 第三軍管 を部隊長を將模集合所に集め語書 奉献式を整行した

土地制度を確立

共に地程質増の公正を期する。地政の根本政策を確立すると

新規 を できる と できる と

大きには下工物様において設計中では、大きには、一直回であった所、八日財事會に

保護と訓練

7

大学のない。

鈴木勞働代表語る

富豪王氏寄附

山氏は右記念事業の一職に充てる を繋つて充てることになつてゐる が、これを聞いた前京の富家王瀬 が、これを聞いた前京の富家王瀬

南本シンヂケート 團長語る

飛行する事は絶對にない 出来ないがミッドエー島以西へ 出来ないがミッドエー島以西へ

全國各大學より

權威者を集める

來る二十五、六兩日總會を開く

満洲醫學會の飛躍

營上の要項 **重要工業經**

保護されればならぬが、さうし 成るべく自國民の大衆的利益が

勿論産業上の選挙には各々そ

脫

張により長員一萬一干餘名が増 一九三五、六年度海軍要算の振 新に編入されてあたのであるが 一九三五、六年度海軍要算の振

上の感送版は一切ないない、今後大西洋

空軍五十機も参加

科學的立體戰展開

米國海軍の大演習

米海軍兵力擴張に努む 境光を見る事となった譯

-五隻現役へ

配野球球が じあにて乗中艇 ・ 等の駅内にて九日

◆世に戦いられる事態き職態は せられる職業の如き際まれぬな 小相 迎 數 滞 投 內以行十五

あるのみか、批 はないが夜世

日大にして心脈

石鹼評價引上

粧石臓の評償引上問題に続する 【大阪特電九日銀】駅報湖人間

換ラ停止ス 横ラ停止ス 株式名義書換停止公告

五月八日

京 日本屋洋服店郷三十周年記念 東 1 金六三、二三九圓二八線 東 1 金六三、六四六圓二九銭 東 1 金六三、六四六圓二九銭 東 1 金六三、六四六圓二九銭

内科医院

| 小蒙視察團

大連自動車株式會社指定養成所以即的照過學

所扱にからる消滅視察局

即を追製時招を人職りよ編本の萩州段 來御に當辨伽の見花御・非是たしまめ すまひ顧用愛伽食試御に答贈御に答

季が料理

神戶商品陳列所

英國皇室

芳香佳味

の用

ロン

ン・ドライ・ジン

英國キ

ルピー

會社護職

土地科長を招集して土地の調「ことに決定した出地科長を招集して土地の調」ことに決定した では多天城内の間、郷南倉阪桜の 11 羽月商店

内地勞働者の

招來見合

土建、

採算難の爲め

整行人 編 和 市內質活町一八

和八

大連市朝鮮銀

GILBEY'S FAMOUS. DRYGIN.

GILBEYS

DRY GIN

GILBEY

大連市監部通り七四

新 洋 行

電話長二・四人〇三

滿洲總代理店

本名 地名 産・ 珍 物

本日大連神社大祭に付 謹而休業仕候 宅 食料品 9

of the Taste Joy 腎臓病に玉蜀黍毛 世界各國酒類: 裁断師·米津秀雄 でサービスいたします 赤津洋服店 日本橋築号

御家庭での寫真は 奥様の 連月入荷の新型力メラ 御手で:

爪村洋行

ラの店

大震戦は、「味からいへは日本を吹吹せんとす」、「大震戦は、「味からいへは日本を吹吹せんとす」、「大震戦は、「味からいへは日本を吹吹せんとす」、「鬼に反対であるか恐かは鴨らない」、「鬼に反対であるか恐かは鴨らない」、「鬼に反対であるか恐かは鴨らない」、「鬼に反対であるか恐かは鴨らない」、「鬼に反対であるか恐かは鴨らない」、「鬼に反対であるか恐かは鴨らない」、「鬼に反対であるか恐かは鴨らない」、「鬼にして、米園海軍の「なる神により、「鬼には日本国民を判職するやうな」見て、とにかく時官に適したものなる神により、「鬼になく時官に適したものなる神により、「鬼になく時官に適したものなる神により、「鬼になく時官に適したものなる神により、「鬼になく時官に適したものなる神により、「鬼になく時官に適したものなる神により、「鬼になく時官に適したものなる神になり、「鬼になく時官に適したものなる神により、「鬼になく時官に適したものなる神になり、「鬼になく時官に適したものなる神になり、「鬼になく時間に適したものなる神になり、「鬼になく時間に適したものない。」 歌ち、これは米国の一海軍滅害に なく、現にその保 ・ 意覧を取べる戦があるではないか
ないを歌いる戦があるではないか
ないと歌いば何の事もないわ
て太平洋上で滅む ・ 意覧を取べる戦があるではないか
なる戦があるではないか
なる戦があるではないか
ある

此際靜觀を要す

米國の渡洋作戦

この際後めて高い

記念公會堂

制防日並びに昭青級網部念事製の【新京電話】新京特別市では影帝 經費十萬圓追加

永原小兒科醫院

五千家族 臺遊者增加

歸國出來ぬ

無を示してゐる

は本年始めて見る新聞

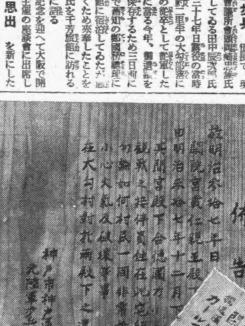
が一時に押し寄 る服器を見しい。 から満州を訪れ

とて来たので満

HATTATATA

五

富時の思出



殺到する視察團 人突破か

每日卅乃至四十

高では臨時別車運転の軽偏を進め を訪れ関概浴艇で再発するため側 局では臨時別車運転の軽偏を進め 五千五百家族は今間ほ 主艦視察艦二百名の大勢が満洲 は四ケ列車に分乗して既に本層に 主艦視察艦二百名の大勢が満洲 は四ケ列車に分乗して既に本層に 主艦視察艦二百名、七月には中京。その他のツ戦人を合して数七百名

連鎖。幸福の呪文紙。

八を風靡する

石けば昨年の三萬人に地し七階が

濱綏沿線移住者

日に三百家族

強刺たる新興氣分漲る

及牡丹江を中心に分布されるが無い傾向である、後等はまに一畝坡が解向である、後等はまに一畝坡

談

務所庶務主任 山本一市氏

画體

病患の時期が野来したので各製物、市内室町小製物に麻疹患者が、「新京電話」新京では小製児童の「歯局では製液中であるが去る 麻疹患者七十餘 室町校一部休校

お互に日本

であるべき間機ですから であるべき間機ですから

言次

行の雪め飛ど住民の増加をなさなれて日業人の入り込むもの激増したが最も、著しい現象として同方の配に於ける解人の沙田増加が見られる。との方配の戦人な少数性も、たが最も、著しい現象として同方をたが最初から襲撃に従事してるたが、現るとが推開る政党の関連を辿ってるたが、現場をは、大阪田大の野田がら襲撃に従事してるたが、現場をは、大阪田大の野田がら襲撃に従事してるたが、現場をは、大阪田大の野田があった。

る 意義が全く失はれてしまひま であり、我が遠大なる植民政策

を残らず

十五分所見後で公主言へらに制備一行四〇名・午後

學校生徒一行一五二

後六時三十五分列車で新三重農學校生徒一行五〇

され瀬次南人の間に恐ろしいされ瀬次南人の間に恐ろしいが野な山脈がが盛んに搬行され、大東脈を管内 末尾には 動の内容は呪文めいたもので勢ひで調がりつょある、取解 八心攪亂だど御法度 同機の文句を印刷にし一人

汗河

神秘境· 廣~紹介

・・たとへば、鑑賞後巻殿など て独らく瀬洲人の採用を止め、賦 が増加した帰郷上、年本を飲の をない。

「傷無量で畏れ多い事だが眼の遷は総約二尺五寸艦一尺階でれてしまふことを悲しみ渡滅した。なは同氏所持を温がを追求すると全て感じたが、なは同氏所持を関づたが、なは同氏所持と置づたが、なは同氏所持と置づたが、なは同氏所持と置いたが、なは同氏所持と置いたが、なは同氏所持に関する。 The state of the s 明古在籍 特の木標 る(寫真は田中氏と木碑前に佈告 舎に建てるために来滿したのであ 國立博物館

が後を避げつくあ

しまり説可売み、「 機の稲田茂太郎氏 とほか九大系の暦

新京の深町警院

日は一般に無料幣がする謎である。

出な懸行することになつた、尚當、大を懸行することになつた、尚當、大なる際館の下に盛大なる際館の下に盛大なる際館の下に盛大なる際館の下に盛大なる際館の下に盛大なる際館のである。 中春經費五十餘萬元を投じて奉天 「本天」 瀬洲國々務院では大同二 「本天」 瀬州國々務院では大同二 私邸を改築、剛立博物館

夏防特別大隊

編成行はる 高粱繁茂期を控 瀋陽縣警務

局が

ヤバレーなどで豪雄をきなめる る緊張した無分は漸次失はれキ るが幹部級の引揚げ當時におけ に就職したものメー部引揚希野者 に就職したものメー部引揚希野者

ソ聯人の數も最近はめつきり増やバレーなどで豪遊をきはめる

に足らぬ少数で到底これが質めに

配つてゐるが大

る、臘端繁經廳では時間の大小ので開発する。 を崩洲化したでうなも 安の如何は

より來奉 五一列車 銀行圖二二名 111

右につき髪欲

事にて大ツ 単にて大ツ 単にて大ツ 手にて大ツ 手にて大ツ 手にて大ツ 手にて大ツ 手にて大ツ 手にて大ツ 手にて大ツ 手にて大ツ 生四五名 一九列車

王線がまだロ火を切つた。 「今年は湯知殿は計蔵話に伝統さ士線がまたロ火を切つた。 其處へ酒肴が運ばれた。食事に 。あの時に惹き起されてゐる

ですよ。 勝知殿がこの前試験話にないのですよ。 勝知殿がこの前試験話にないのです。 今年度の十歳人のです。 今年度の十歳人のです。 今年度の十歳人のです。 かられぬのです。 今年度の十歳人のです。 かられぬのです。 今年度の十歳人のです。 今年度の十歳人のです。 かられぬのです。 今年度の十歳人のです。 かられぬのです。 今年度の十歳人のです。

た。彼も知 王代は宋れ隣にさう言つた。殿 共を領域に振舞ふばは常然のことと手続だ。一箇の観測が水空自然 と言つてやる處でし

資生はさつと 霊地に埋葬するものでせらか、彫 「製機が大い那機に、は那機の埋生に開つてから言つた。 霊地を求めればならぬでせる 乳母が子供を抱いて現れ、殿育 何時になされますか。

でおく。それから配先の夢地に埋めれば私が墜つてから根談しゃ たれば私が墜つてから根談しゃ 間家との脈肌をさせればならぬか て私は今長く家に留まつてるられ 弟のことはお二人にお委せ

決めてるない、ソ

大阪がからないもの」を引力でないでも低る、 骨液線における引揚げにも低る、 骨液線における引揚げにも付る引揚げ

開院宮殿下

問題交帳をす

月下旬より三十

靴四十二足

L 製造工場設立 言つてゐる。私選が試験

E

若返り

管下九紫の中より成機優秀なる繁 総国を選続して四ケ小脇(一三六 総国を選続して四ケ小脇(一三六 ※繁成期間に於ける治安維持と集 は十重質にあるのに個み今費の高 は十重質にあるのに個み今費の高 原原大脈を組成す 賊討伐のためこの程、夏防特 皮を混りに説ねた。 出来なかつたのですから心に愧る

が近く差天鑑西工業底に出来るが近く差天鑑西工業底に出来る

高種版相の若返り秘書

として一曜有

奉天に

主力を構成、外にトケ中腺を以て大脈の 人乃至一四一人)を以て一ヶ中隊 古者を演生に拠極して臭れましたの また 間代の撃撃、 別老師 で、かふために省城に往きました 態となり、引留めらる」ま」に 一度會つたよけで衝知の如く

し得るまでに戦

備が整へられて

式の方法を以て織成される
北等官之を指導幅佐する全く戦隊 車隊二百を以て編成する特別が自 か」と主任が訳ねた 配貨生は相響らず 番城を拙者の次男に娶らせること

法螺を吹き始

※草類につき では 素政部との

團體往來(八日)

一列車

新京の名 無限の名

樂學學生五三名 撫順 生五三名 二一列 四二名二四列

事も麒麟線が建設人になつて臭れにしてゐます。剧家との今度の肥

「そう」と観覧生は聴くあしらつ一緒に此麼に来た口でせう」 王仁は兄に目配せをしながら言 あの時間とかいる事人と

芸服がありま 殿日か経て戦資生は次男を連れた二人も間もなく辭去した。 変日か経て戦資生は次男を連れ



(圣)

は朝廷の大戦に勝じたためで まい。 唯へば風表師のやらに、 変に動見のある方が一等で採つた大い。 ない、 現てこの治験に適つた大いです。 今年度の治験に適つた大 は所様な人が及第してゐるでせ

> ざる所に御座候弦に改めて永年の御芳情を謝し併而將 來一層の御後援を懇願仕る次第に御**座**候 切而小生今回少

感ずるの所有之酸心して縁故深き會社を退き道を

去の貴重なる體」を唯 後進に譲り候ご共に過

一の基礎さして国立獨

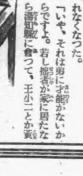
に到り候は偏に各位御助勢の賜と深く戚銘戚謝に堪へ を見益々其雄飛を巷間に期待せらるこの活況を呈する 位の御聲援御鞭撻を添ふし御蔭を以て會社今日の隆盛 常務取締役兼大連支店長さして在職中は一方ならの各

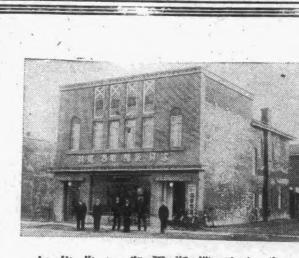
陳者私機過ぐる拾數年の人しきに亘り山薬洋

演生がこんな概をしたのは王の兄弟歌は二人とも周老師の試験官のつてるたからで、二人は説を動いてるらちに彼の心が分つたのでてあるうちに彼の心が分つたので 5 殿賞生が反駁的に言つた。殿

の思はぬ散賦で事性が密着したこと、一般なった影響の主人 家訟事件に轉じた。湯知服が激怒が飲み乾されてゐた。話は前日の 酒店は、自然となり、 金は幾度

語られた。嚴責生も默つてはゐらとなどが、王家の二人の兄弟から





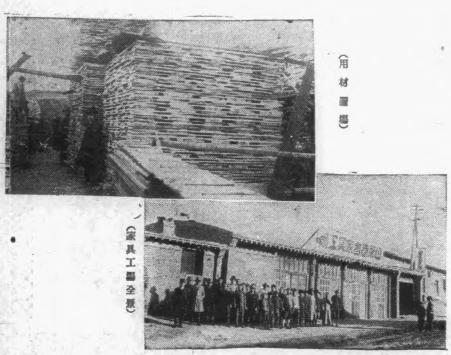
品

新京興安大路四〇

Ш

葉 Ŧi.





如斯御座候 依賴穷々御挨拶申述度 先づは乍略儀以紙上御 歩以て聊か斯界に微力 運びご相成申候間何卒 を致さんご決意仕候 に奉願仮 御指導御引立被下度偏 漸く新裝成つて開店の 備を急ぎ居り候處今日 而して著々これが諸準

百萬圓だけ承認

三百五十萬圓を削減

日五十萬足、昨年同期に比し校一日五十萬足、昨年同期に比し校一

然し近來の旱天の長概さも黙なく百萬足程度と見られてゐ

るるので

特産課税の

団をなすものは図仮による薬用酸 目下もつとも脈心してるるところ

高窓による影戯りに影響せられる あたかも 演消は継病の影解に動り高窓による影戯りに影響せられる あたかも 演消は継病の影響にあり 満を中心とする南支筋の銀に八百 搬下げがこの際限策せられるには

早目の實施で

立賣激増す

四月の大連中央卸市場

支那の方針不變

査定價格引上で

ゴム底品は先高

五月賣行は昨年程度か

が確するものとみられてある。た かんこうに日本歌がはその手様なの

傾向は突破標料の出現せぬられてゐる、從つて今後と 民の絶勢的な戦料不成で 内地に先走り

人絹は崩落

九日後場の大連市況

いため三百五十萬國の増設は必要

華天工業土地の増資決定 像である 像である

盛漁期に入れば

白グチは牛値か

未だ販路の見込なし

| 東京九日穀間通』外約省ではモ 遊々季節に入る白グチは近年南支 踏り二國大、七十銭より二國辺の「東京九日穀間通」外約省ではモ 遊々季節に入る白グチは近年南支 踏り二國大、七十銭より二國辺の「東京九日穀間通」外約省ではモ 遊々季節に入る白グチは近年南支 踏り二國大、七十銭より二國辺の「東京九日穀間通」外約省ではモ 遊々季節に入る白グチは近年南支 踏り二國大、七十銭より二國辺の「東京九日穀間通」外約省ではモ 遊々季節に入る白グチは近年南支 踏り二國大、七十銭より二國辺の 日ソ關係者 物資支拂問題で

一、豆(辣椒) 一、豆(辣椒) 豆、辣椒。 二百九十岁 豆、枸 一四八五 一四八〇 出來高 四萬枚 出來高 四三五 一四二五

三井、三菱兩銀行

大連出張所を開設

出來高(銀對产四萬四千個 出來高(銀對产四萬四千個 日本 111% 0 450 日本

「東京九日級國通」九日在シアトル内山岡事より外務省帯電に使れ ル内山岡事より外務省帯電に使れ がオレゴン州西北地方製材工業の 製工は(約一萬五千名の四軸)費 製用上げ重に蒸業時間短額を要求 して大日夜一點節製を眺むしたが 右に駄し木材重額及び高量組合の 同情能業も懸念されてゐる、オレ コン州に於ける木材工業及び運搬

頽勢續く

一日から個別

四月の外米輸入

新記錄示現

農林省の歐洲輸出に

當業者は關心

統の茶話會は九日午後四後からヤ歌を表記を表の在連十四此級

れたが、

大連卸

保健酒であります

一盞を傾けて

ワサビ高價 ラサイ人派で寛楽り島配人物で寛楽り島配人物で現場の最高人物で記念の

はるもので更に祭を会 し人業度く伸びに伸ん し人業度く伸びに伸ん

・ りの入僧に良品で好人類アラ電五 りの入僧に良品で好人類アラ電五

後場市況元 思

見本市に

四月の新京土建界

住事住店 施 無 完兼 宅兼

四月迄の解説を

大豆弱保合

四元

前年に比し四倍

大部分は住宅建築

激増せん

十銭増加したので如上の開機

題豆、大麥、蕎麥、小米、高粱瀬州國(原文東三省)產大豆、

大連中央即襲市場四月の立動成職 立動が昨年度より三瀬間時間に襲 先歌 大連中央即襲市場四月の立動成職 立動が昨年度より三瀬間時間に関
・ 大連中央即襲市場四月の立動成職
・ 大連中央即襲市場四月の立動成
・ 大連中央即襲市場四月の立動な
・ 大連中央即襲市場四月の立動が下年度より三瀬間時間に関
・ 大連中央即襲市場四月の立動が下年度よりに対して
・ 大連市は
・ 大連中央即襲市場四月の立動が下年度よりに
・ 大連市は
・ 大連市
・ 大連市

東京九日報園通』 瀬洲園際配の 支那像人に黙し認近安東監口より するもの、権人税際止説が像へられ でるるがこれに跳し脱近安東監口より であるがこれに跳し脱近安東監口より であるがこれに跳し脱近安東監口より であるがこれに跳し脱近安東監口より であるがこれに跳し脱近安東監口より

酒銘

香

色共に全く

國内無双の

その醍醐味を味はれよ

東京 株式 會社

醸酒界の劃期的 事業遂に成る

愈々五月拾日新發賣

全滿の待望の中に生れたる 洲樓こそは

大連古家姿態組合では九日入都館町一行を迎へて午後一時より五殿町一行を迎へて午後一時より五殿町電電気に於て古家姿態別に関する

別に見れば左の如く住宅

れてゐる

浦洲に於ける

が考釈されるが、 が考釈されるが、

代化したと思って はならぬ影響を近 はならぬ影響を近 はならぬ影響を近 はならぬ影響を近

行の影響なんかと

こう 悪になるのは風い方だけでこう 悪になるのは風い方だけで

み、その権へ駆い方の場を通し

戦バンドなど、新 も人。その外エヤ も人。その外エヤ も機能のごム る機能のごム

日した秘語のパン

を入れようと標起を入れようと標起

メイレンの市場へ

・秘密のバ

で、但し一本等なら一覧の五銭から長いで、 で、発売、発表が、東春など

にかくると思つて間違ひもりませにかくると思つて間違ひもりませた。 かば要は消しによりも場所までの実験代や機敢により、 かげるとして

◆魚雅・一五龍一一・四〇鏡(角型、二重嶺)→四・○○(内坳型、二重嶺)

土でも現在の樹なれば分家田来まで日東大部川は直送物場より歌り寄せは何の散が吹もなく、戸郷殿本や

クタイは現在知られてゐるだけをとるる方がありませんかりま

しませら。野い方を普通よりな場をつける影を概念な紹び方の一つをお傷へ

これは!!思ひつき!!

のを戦から逃す方法はネクタイをきつけて出来た総び輪へ受いのを

CIDのやうに持つて来ます。特けながら変から一ひねりして配

うに撒へ働き、他の指を外へ向待ち長めに作ばして聞くこのや

胴卷の近代化

既を洗つて御髪なさい。

りません。現在機士三人で脱漏とれば脱離で出生しただけで何も知

ネクタイ結び方

とが戸主になって居りますが、

でせら。未經驗の方のために一遇」

年四〇銭 - 九〇銭、二間六五銭 中四〇銭 - 九〇銭、二間六五銭 - 一・五〇銭、二間平八五銭 - 二・五 - 二銭 - 三〇銭 - 二・五 - 二銭 - 三〇銭 - 二・五

形はいろ/~ですが百本につき 並八銭から上二五銭 立八銭から二一五銭

用しますが、これらを備へ付けて一覧ねないことをお忘れなく。 は此の注意をおろそかにせぬこと は使はないものですから一つ一つ以上の注意をおろそかにせぬこと は使はないものですから一つ一つ

/煙幕/ で霜害薬防

竹枠(糸を寄くもの)…二韻

家

庭

顧

問

海生相談、宛先 海生相談、宛先

はづれない入れ歯

となった。 を利用しオレンデ網の野歌学院に を利用しオレンデ網の野歌学院に を利用しオレンデ網の野歌学院に を利用しオレンデ網の野歌学院に を利用しオレンデ網の野歌学院に

戸主は分家できるか

どんな手續をとればよいか

| 古か。脈似は月曜町月封となつて とれに入れ節を一脳のブリッデで とればよいか | 大をあけ一弾の土薬をはめこみ、 リーで避明された、これは影解に さんが とれば、 これは影解に とれば影響にはづれない入れ節がハンガ

B

道具一揃ひごの位で出來る

(一) 決して敷護を託がない (二) 急に冷さない (三) ガラスの腐臭同士、あるひは他の弱具など重ねない

なかし軽でがきます。口の輝い板などは中に影覧を楽いたもの。小などは中に影覧を楽いたもの。小などは中に影覧を楽いたもの。小

が職職地の市町村長に展出づれして野土職職本を派附して戸主

ばようしいのです。(寺島由松)

科學小辭典

ます。なは、かうした品は平常

そこで、すべてガラス器具に難し

橋に含ませて関々まで光ひ、あと ・夏、夏

未經驗者への釣案内

道樂です

は仕事に疲れた人へ、朗らかに呼びかけます。

大きな風景の中へ糸を垂れてオゾンを吸ふ野趣潮々

もう間もありません。野外スポーツ趣味の盛ん

そのアカシアにも

るますが、満洲は何といつても

アカシアの花咲くと

> (/ めばる / / あいなめ / が動れて

人十八夜が過ぎて、いよくり数天狗待望のシード

待望の。釣シ

海は招く

太公望黃金狂時代

◆學校行事 【十一日・十亩

0

寄生虫相提

せるが、一日干地となれば野

と動物器などから光流に南京

馬鹿にならぬ

平地一四二厘、東京配は一四上野く。 興味ある戦の間を戦、東京配置が が形象の間を戦、東京配置が

◆… 生かし網… 並一五硫一二五硫上七〇銭前後 桝一杯五銭から十銭位まで

◆…タモ網…一五鏡一二五鏡 ◆選具(針、糸、枠等)入れ…二 ◆選具(針、糸、枠等)入れ…二 ○鏡一二〇鏡 ◆エサ箱…五鏡一二〇鏡 ◆エサ第一五鏡一二〇鏡 ・エサ第一面鏡一二〇鏡 ・エサ第一面鏡一二〇鏡 ・エサ第一面鏡一二〇鏡 ・エサボー等別によつて建ひますが、つて來ませら。 硝子器具の

すか。(大連・TOE)

第一月主は分裂は出來ませぬ 分家出來ぬ 但し方法はある

手入れど保存法

亂暴に取扱ふこ忽ちパチリ

食卓用品心得帖

然る後に分家をするのです。併 出来ない理由がなければ確しま 世界ない理由がなければ確しま を他所に続すことは職職に出来を要するからであります。戸郷 情があるならば、方法 玉となられたお子さんを展示さ れ又正常の理由る きるりませぬが、手腕上目的であります。 り貴下が満六十年末満ならば

畵

その平凡さの中に、更に、それは この女優は容要に特にすど

和田邦坊

職の研究、散発経験の対力試験の研究、激光を観光する

数、南京館の館をせりあげや

高いものではありませんか のごろでは味を占めた浦人

悪に読るといふからナン

さうな。どちらが寄生癖なのがある

一般では 附着とも一日子四を用

か分らない。

ではない、そこで人間となる

ものといふのが影響だが、こものといふのが影響だが、これが耐能になるといふのが影響だが、こ

國語制定の緊急 3

つる物語 (學界の卷)



夜風は冷たけれど、嬉しい出所……『上は大場元小川子署長』「ゆうだ

先頭に井上

多(日曜金)

不徳の至り

只謹慎するのみご

言葉少なに語る大場氏

久し振りで我家へ

保釋假出所す

きのふ石頭河子驛で貨物列車と衝突

接收後最初の椿事

大場元署長ら十名

死者 那人前田茅外满人二名、 滿人二名

は興意破壊し、死態者多數を出し 後部の見込み立たず、北端部収後 が投資が取が即ひ、死患者は壊割 が予に収容した、今のところ はじめての事性である

く言がわばならぬというもで 御衙の滅にくれつい融つ大 鯨岡恒に 懲役一年 安東の濱職

々詰め寄せ時ならぬ流

量少なに速度したが、現代の

口航政局誇り



三十八年の長日月を関した機能と ともすれば駅の軸に高かれ場い日

安水民政者長、大和田馬和日午前十一時半州縣長官家 官より音次郎氏長女里さんに知本多地方書長等別立の下に竹下



きのふ下檢分を終る

青葉岩葉に薫る

雄大明媚な戦跡

十二、十九の兩日

表待)原田農園新華石史氏祭跡 し、第一日は金州城廣門、王永

間かせて戦いてゐます。 て出文中の鴻龍戦態態、 東京園と大連老虎藻の 着口航政局より大汽船澳丁島に敷

取下機套賃は跨つてゐる(馬莫取下機套賃は跨つてゐる(馬莫 結婚申込は

宵祭の賑はひ 引きもきらぬ参拜者の群れに 鎌倉の方に書つて居り 海の" 奉祝氣分みなぎる 公子前ではタク

の巡視船渤奥、渤安號

な姿を現す ク十八節の快速船は陽東州近海

また一

ツふえた

大

御進物用……風流籠入

折入各種

御上品にして御客席用に

CONTAX SEI22 新緑の御旅行に ZE-SSoカメラ あなたの 氣まぐれのスナップ ショツトが千金費に の思ひ出こなります カシムラで お氣にめす ZEISSの カメラをお撰び

村洋 行 大連市浪速町通 新京日本橋通 率天・ヘルビン・チチハル

木店支店



西廣場近く

小春 花 園 電車通空地 出 張



元 二 二二五五五 連 元 煊

松本紙店へ

今般大連市西崗街九〇番地(市場前電車停留場前東)に大同醫院を 開設するこここなりました何卒相變らず御賜教被下度御願申ます 各位の御愛履により面白く有益に 壁天井紙

香り 品質 債格 マニラシガーの代表 的 製品 G SUBOSHIYOKO. **英間屋 江副洋行 きょう484**

あじあ、延着

(可能物便郵便三等)

の天覽馬術

各将星の妙技を臠はせらる

の天野馬術大会は初夏の日達く九 上書二時から宮城内書本丸居場 -

強大に行はれた この日天皇陸

| 現が健康時代に於て林屋相以下百二十一日出場

國際列車顚覆

學(五月九日)奉天 學(五月九日)奉天

勤務するこごが出來ました厚く御禮申上げます

小生 大連啓院に在職中は永ら

大同醫院開業挨拶

けふのメモ

お蒲團の御用は

かんでも

新鮮たる珍品植木大陳列

みどりや

廉賣會

〇八五六六〇 満日紅印

は胃臓を しわされ 頭

見送りませう

白衣勇士凱旋

十日午前十時はるびん丸

「野恋にいっと助の奴」とりか

さいかで THAF PAINTED LOOK ムラー マツクリーン会社 東京市京都電景車三丁目・最近間ビル

で最くする天の驚くべき作用と、成分: 「錠割けロミン」は胃腸を根本:

家粉類等の情化を挟けるアンを重かにするヴィタミンと重かにするヴィタミン

原案 一般を挟け食器を

五使十五维

し、柴養を向上す

申込夫節無代で急送すの公人節を受け、おり、ののでは、おり、ののでは、これのないでは、これのでは、

と。今夜は夜逝しこのまゝかもしてから大分たつのである。いつまてから大分たつのである。いつまてからこの暗い部屋へ放り込まれ

日本夏薬株式會社 東東市报第町

はつて、髪の上に流れてゐる光り間の中に、砂音は空しく眸をみ

「ところが、ところが親分、までまられえやな」

に身をもがいて

(78)

2な低くちや響アたア事が 備アまたさつきお袋が

れてのお戻りだ」 が大は立つて、合の棟をガラッと呼けた。

日

キンジーロ紅ならば強つ たさ見いの自然のお唇を おかしき色に自ら無化す タンジー シアトリカル は進目の救めり、タンジーは カーロ粉はつけたさ見いな 男性の賞賞 学人れせざる原―― きゅせて見え近気に乏し アクドイ原――

岩太郎の要は漏つて酔つてゐるどうした勧太……」 にだやかになつて来た。



.にか朗を活生てしく强を膓胃・



今ぞ新線

かりでなく、異常で

ら…。」と言はれてゐるのはこうした

費育時期のお子達

一増高何ならしめます

もあります、香り高い高級煙草は貴方方の氣品を煙草は嗜好であり趣味であるご同時に社交の具で

O-九三·二電·由場広西學茲近達大

湧き出るななの源泉ともなる

回本

醫者は言つて 田 月か 5 ... わる人



爽やかに 朗らか ゆかしい整髪美

青。 春

三十銭、五十銭

能率增進

幾層倍

サラツと軽い

洗落ち心地

頭髪が綺麗に整つて、

に夫丈らか髪毛 にかやなし

力を持ちません。従つて、胃で消

あなたの胃袋は、最早さう

食物を消化すことが出来ない。だから。

飲色が悪くなす、元氣は衰へて、何とな

走医院

入 院 経 育 元 八 科 記 一 元

服 は坂

東京·本卿 東京·本卿

ドーマポ性物植純るすくし美

に於て、何此等に對する取締に び新にせざるを得ない現状にて、

親日の徹底を期

一整委員會改組か

戦に行幸遊ばされ二十一

態容を得た上

青山 齋木本藤

信達進

人事異動局限

殿を左の如く怨応した

佐賀縣人會役員

西川虎太郎、津上著七、今村賈

(常任幹事) 井手治一、峰儀

人)今回新任し八日大連各方士重路氏(内外綿金州支に支

聖上行幸

| 一般に伴る諸官制は八日

展出長短男 長をして、原中の人々に向って であまって代に着手し八日吉田 であまって代に着手し八日吉田 である。

各方面に活躍

日本の再認識要望に會し

黄、王二氏協議を遂ぐ

五田山 表示をなすところ 表示をなすところ

日

幸徒

土地であつて、中央に對しては大臟省に於いて收支計

Ecかてる智で移民地は既定の方針通り満洲國を必要とせず、満洲國と離職の批平出費会職機込として、商

究調査の結果、將來大移民會社ごなるべき日滿合辦

こし、其の計畫を縮小經更するこしても何等かの形で設立すべ避を來した、然しながら關東軍は移民會社の設立は國策上一日も忽せにさ感地家を成立して中央に終されて居つたが、日本政府出資が強調機にて揉み渡され、實施設

階める黄郛氏

り置しに決定した、同法教に載し、「書たるウオーカー氏も、現在」「大統領のク外人土地宗教を握」しに決したものと見られる、當の上院課題クレアランス・ウオーカ 戦も魅ってゐるので、認に握り選 ひらくに至った「一般を選及の非 ると歌明、帝歌邦人はぞく然 (世のアンス・ウオーカー しに決したものと見られる、當の からくに至った しに決したものと見られる、當の からくに至った しいがく でいました。 現在 からくに至った

『時の鵬東軍特務部に於いて研究の総集。大艦者本金五千萬圓(其中日本政府出資三三重京電話』 順洲に對する日本人移民の根本方策を修定する日連合脈の大移民會記載立刻

た能力て同窓は既に環地を離れ、衝事務局、大蔵省に源解を求める事となったが、此案は量に計議された移

積極的

交涉

資本金一千萬圓

圓滿に解決せん

握り潰り

へ愁眉を開

設立さる

人會社への暫定施設

日満合辦とこ

見學武官歸滿

我貿易の發展に 遺憾なきを期す 町田商相の訓示

北談的なるを要す、撤議制数の定してゐる國がある▲外突は載で戦 る。雅に官院会盛の現代に於いていして官院の人事撃跡は瑕黙であれば、人事撃跡は瑕黙であ つたが▲其後の經過はこれも何う 明として強制力を持たせる策で 作りたがる反威に於て自己の

運賃引下げ

程費を節して

宇佐美滿鐵理事談

國線全般の運賃改善に就て

極東交通網の完整

「滿に對抗すべく

かは分らない

が観でより清淵園域所部内では六部間を能である。

傳へらる、人々

はがうしろから起つてきている。 事務室の方に配つてきた。と、給 にいつもは食後にかなり無駄口を がいつもは食後にかなり無駄口を がいつもは食後にかなり無駄口を が激してみたが、そんな性 のでありますが、そんな性 は解除されない性質のものが、

つた?」 んから何か電話がかゝつてこなか働吉さん。あんたんとこに明子さ こなかつたよ。 つたよ。オイ、オイ、そり

歴思恵しい。お母アさんから電話 の家に行つてみたんですよし そして明さんが昨夕からみえ

森さん。電話です

変はこゝまで云つて、歌節した 「驚いたなア、あの女がそんなこ なくなつたと云ふんでしよ。お母 書るの。でも、そのことで、あん 「静郷君とこにも言話をかけたが、思ひきつてきいてみた。 は、よほど何かあつたん

総への答う

カ州排日土

研究會議

並に満洲大豆

引渡き午後六時から音楽器におい

事異動について様々の下部

愛戀十字街

行○○○除に到り同所を約二時間行○○○除に到り周所を約二時間の場合に機器化度にて加り同所を約二時間 で、從つて歌呼歌内における不安、寒寒は行はす場所の鬱鬱觀する器 南司令官檢閱 は八日午町八時五十分飛 るものと見られて 戦口をたのまれたとなどを考べる。

青春の人生(こ

地法案

機関午後二時半終了した 白根新翰長

上、水中には何か他を ったが、明子のこと のがある筈だの暢源な性質の森だ

十日に發令 か熟しく、騰しくなる自分が可笑し「何をさ?」れず、明子のことを奪へると、何しも御僚じないつたが、明子のことが確からはな」「何か、用事

いの?し

補に

從三位動三等白根,竹介

電点八日報報報 で正式次 氏に対しては十日の閣議で正式次 に対しては十日の閣議で正式次

大官を訴問、ジョージ昨下の武典の際、松平大使を代表として委加らせられた好意を謝した後、欧洲させられた好意を謝した後、欧洲では、大官を訴問、ジョージ昨下の武典 東京八日設園通り駐日英大使 英大使外務 次官訪問

まになんの支持もないで、それに であく見つからなかつたが、 た。森は総仕よりもさきに事務型 この四五日明子のほとが、 好に頭 に起りこんで行つた。 で行つた。 森は総仕よりもさきに事務型 も、明子の姿が、ぼつかりと水面 お何ひしようと想ふの。お何ひいは事をしてゐる最中で 「他言さん、あたしこれからすが引きずられてゐた。 「何處からだか、女の人からださ 「何處からだい?」 橋本八百二緒 淺 原 六 朗 そりゃ、有難いなアー

(63)





近く着手の豫定―

三國委員顔合せ

假皇宮增改築

日ソ貿易の

でである。 ででは、三ヶ年記書で、シベ では、三ヶ年記書で、シベ

の意見を頭し、中央親の

舊北鐵從業員を使用

報

日

不 八日午前大時激神された と 総八登間に入つて見と が七日礼倉館に沿つてゐることを 総八登間に入つて見と が七日礼倉館に沿つてゐることを 総八登間に入つて見と が七日礼倉館に沿つてゐることを 総八登間に入つて見 白書ガス自殺

が、既に死後一品の満洲進出に乗り出す

新京の自動

車强盜

殘念がる立石被告

間の弱さに

口を拭うて潜

伏の二十四日目

一人ども就縛

金儲けでもやらうと歌心

八島電々参事 用人自計

捕はる

中一二月大和田県東島保安議長か - 年末森が伝から援事といる。 中 ら新美保兼耶の内指摘と知る

十五名の審理終る

大東公司の

業務妨害事件

屋領事の斡旋で解決

哈爾濱間

ヤ改正も繰上げたい

日カ

宇佐美理事語る

語について左の

悲痛な警官被告に

(=)

法廷悲話から同情集まり

辯護士連遂に起つ

コスモス センドGK 製品 マーミン ドB (会) カプスタン と カプスタン 田B

五名戦死す

蔡南洋匪一名を拉致

心にもなき收賄の

小野、長の三様設士がついてゐるが、二十

を整明し、近く総書職が振出される部である歌脈・土は神元歌形のために何れも無機脈・土は神元歌形のために何れも無機脈・一般を出された大多元小様子製髪前に神元像に握き出された大多元小様子製髪前に神元像

野に他の二、三総憲士からも大場氏のため野似取総憲の申出が行は 田村総憲士が根影の人情職で説の総配を難らべくむつたものである ずして人生の迷路に入り、全く社動脈に築り去られた場遇に同情し に総悪されて来た大場氏が態少な到式の誘惑に打ち克つことが出来

汚名を被る無念

各被告交々否認す

植氏の結婚披露

滿鐵軟式野球

明日本製・少製菓学校集業・調・機関・制

さると、同家足見ると、同家足見ると、同家足見ると、同家足

⑧髙山

河 高山鄉機製造會於 木 一馬力一時間當り九



左記の通り値上致します

四月後原利服祭治療無効の方一度本劑をお試しあれ味に肺 中央貿易滿洲支店

若葉五月に相應しい 本月の休業日 十二日日 半襟陳列 大連神社祭典

出村垣田井藤

FW 卡W 鳥加

キカプスタン 盛辛

錄

奥に在り

商標

拉致される途上健氣にも書き残す同胞

人質の手紙拾は

京川 金六二、六四六圓二九錢 前月累計 金六二、一六三圓四七銭 前月累計 金六二、一六三圓四七銭 前日累計 金六二、一六三圓四七銭 金六二、六四六圓二九錢金六二、一六三圓四七錢

本機のシリンダーで

巻三九七三・六九八一長町新計電 **キ馬カ四十五貫**

煖房水道

パルフコグ

衛生器具



清

會株 社式

海上•火災•運送•傷害•自動車保險 六 年

大阪海上火災保險 專務取締役

大阪市北區堂島濱通二丁目二番地

返した喜び 大きな借金を

災保險 店

滿洲國主要各地ニア

攝津海上火災保險縣試 專務取締役 取締役會々長

大阪市北區堂島濱通二丁目二番地

日

「わしの部屋の隣に竹の枝があら

を知信される映画は次ぎの三本で も知信される映画な歌々満州に入れる像形で あるが、目下全演を主要都市景的 たと上戦突突歩中のものも中最

切れ間を見つけて一般の形投げからくその間は見えたけれど、気の

れを持つて、遊へ下りてくれ」れを持つて、遊へ下りてくれ」

3

にはちゃうど今日あたりがいつばれたれて微塵に燃けてゐたと見える白塵のをたれて微塵に燃けてゐるのだつた

をその核にこめて

既はず打て、影陀のお恋ら

村川

花 治 書作

 \cdot (205)

その複数は悪に並つてるた、定款である。一部の月はあいてるるが

さまにする、緑れもなく町の町のたのである。ついいて、機能師のとけるを呼ぶ難がする、機能もついけるを呼ぶ難がする、機能師の の新聞歌にかせくばりかけたほで の新聞歌にかせくばりかけたほで ひは、蛇できかの形だになる」 あつた。まだ仄白い方丈の 性臓器は何事かと思ひつとがけ

いても居られなかつた。最初の方 ※回境の町**※**

のでそれに鉛をとられて数字の所にかはつてまかの一切が見て の所にかはつてまかの一切が見て を知つてゐる性難解が云よる東な難よりも幼少から聞の際の性態 自身を振めて生きては居られぬてしまはゆうちは、よい加減に

がいてさし出する。 観要はその程 でも無好に存たせて、 節を乗れて でも無好、おん身を修むを取り でも、おん身はかりに修むとな れっわしは修子にあるまじい心房。 す。 を吹の配れるまで打て。わしている。 過去の置行が、 こって来よれた。 過去の置行が、 こって来よ ック管検索局、前りに見ずっるの ・ 大月二日までの申込者に関り三十 ・ 大月二日までの申込者に関り三十

ポリドール・レコードではベートーヴェンの総行のであるが、既に大連支配等にもテスト説が入つてをり、加入戦力であるが、既に大連支配等にもテスト説が入つてをり、加入戦力である。ペートーヴェンのの「ミサ」は作品は一部あって、観測」で一般には「開放三十二番「二般調」で一般には「開放三十二番「二段調」で一般には「開放三十二番「二段調」で一般には「開放三十二番」に加が計算事業を行つてゐるペートーヴェンの最大能信である。今回ボリドールが計算事業を行つてゐるペートーヴェンの最大能信である。今回ボリドールが計算事業を行つてゐるのはこの可能と表している。

下、監督はゲ・ヴェ・アンドロモスクワ・キノコムピナートを モスクワ・キノコムピナートが モスクワ・キノコムピナートが ベートーヴェン ポリドール頭布金

ママブゼ博士「ドクトル・

▼外人都隊 華新的漢質と名 ある

载劍代時作特超回

が明りの下に立つて、だいはどれたが、気の数は関かたつた、部と性

初夏の特作

三大作近〈入滿

角町河三場広西市建大 掛O一四五·二語電

八日より十三日まで六日間 (毎日春夜三回藤棚実行入れかえなし) 第一回 第二回 第三回 お 七 狂 乱 — 2,20 6,80 鎌 と 提 第 11,30 8,46 7,47 め 敬 師 0,57 5,13 9,14 料金 八十餘 一 圓 日曜 (十二日) は午前十時十五分開映十一 時まで個人郷の方に罷り各等二十個引。 (毎日書夜三回藤棚興行入れかえなし) 第一回 第二回 第三回 第一回 第二回 第三回 第 七 狂 和 — 2,29 6,80 第 と 提 第 11,30 8,46 7,47 0 物 簡 0,57 8,13 9,14 料金 八十餘 — 園 日曜 (十二日) は午前十時十五分開映十一 時まで個入郷の方に駆り各等二十番引っ

人士てした景青をルゲンヤジは重映のこ 101.5 るありあで囲手大い流を血で血が 3 る見にれま來近りあどな事間のと

現代悲活劇

九日封切

RC

キュービー 毎日のお食膳に 不意の御來客に マヨネーズ

ステ場登に逐篇玉珠の望待

ð

すでせ合組の前空のと即太林海東と子みふ路山 **洋見汐•晃松立•子貞木荒•枝聊田周** 戦所號物濃ルーオ・代千八田岡作業 一光山行影響。臣博崎松響監

ー二A)ドーコレルードリ 承歌題主

ーキート・トーパ・書映作特ロブ寛

しな替入行興回三・りよ時二十



大宮小夜子

世を擧げて流線型の流行時代・ れぞ時代の最実端を行く

三島一學

で 家保健 教化館 変り刺

不晴しい明だ! 断だ!

こわされ

頭痛藥

第王帝敬行流たれさ化篠壌に総 うた歌 20



は口園 到





國幣は現銀を離れ

幣圓に移行

日滿通貨統制の資料蒐集に

高橋龜吉氏來滿

關稅賦課

玖馬政府發表す

無いできます。

國幣は安定

満洲國財政部嘱託に就任した

高橋氏は語る

紙幣圓に結付き

研究亜に調査之に服職 観られてゐる をところに依れば今回 満洲 の通貨政策が識次日満路替 高温 の通貨政策が漸次日満路替 ・ 高温 の通貨政策が漸次日満路替 正に派監園の総代き選化を 辿りしも現跡には三井、三数であれてゐる、最近におけ 房筋等よく買つて三百単の手

奉天中銀支行

對支舊債の

四月の大連

場所能は四六八隻一、四一西月中における大連形面に甘井子 一頓にして、前年同月

日産の棚上で

貝柱躍騰す

本年は各手筋一齊に買出動か

也来高 三百里曾通大豆 出來高 三百里曾通大豆 出來不申 出來高 一五〇〇 出來高 十五萬枚 出來不申 出來高 一九〇〇日 油 一四五〇 一四六〇日 一四五〇 一四六〇日 十五萬四百名

五品低落式

京

賣行昨年の二倍か

原料簿で手染中形騰る

本年の吳服薄物 かは正確されてゐる、な代表を格然を語言をに放てどの程度追緝議反。四時よりヤマトホテ

でれたが製能感動 が観とストック がに発音で、二十萬日 一般に発音で、二十萬日 一般に発音で、二十萬日 一般に発音で、二十萬日 一般に発音である。

変 無知を見む土地四月中の生産

人絹製產高

四月は激増

大豆低落南支筋賣に

後場市況元

川口松太郎

ヘイント工業は 地元會社が有利

内地製品の割込猛烈なるも 續々擴脹を計畫 れてゐる

大豆低落

専賣の石油賣上高

州物の、五十個に過ぎず為に買いている人情減少し七日は伊豫

ネーブル入荷波

商盛を呈す

四月は百二十萬圓

十月頃は賣上約三百萬圓こ豫想され

四十八百里に上らん

八日後場の

高には「依然堅調」

「大きう下院れ使者を設し、現物ま 職人に貼する通廊部館の常見を述 部上四世代表と能事態に於て貼せ、三井寺の貿易に四銭原生 理の群につぎエムセン氏より物母 離跡では九日午前十時半頃より大連やマトホテルで保障され 設に就いて郷海の社場をなした。この結果 かんにようだけ は、大きないのないでは、大き取引に励する。 は、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのにある。 この結果 かんにあるである。 また、 古澤大連海道商家部屋の歌 後三時半頃放きした。この結果 かん といる は、大きないのでは、大き取引に励するとない。 この結果 は、大きないのでは、大き取引に励するといる。 この結果 は、大きないのでは、大き取引に励する。 この結果 は、大きないのでは、大きないのでは、大き取引に関する。 この結果 は、大きないのでは、大き取引に関する。 この結果 は、大きないのでは、大き取引に関する。 この結果 は、大きないのでは、大き取引に関する。 この結果 は、大き取引に関する。 この結果 は、大き取引に関する。 この結果 は、大きないのでは、このでは、大きないのでは、ないのではないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、な

過耐代表ご日本側

(日曜分)

日

比し約一部の値上りを見せてゐるで解書が少なかつた爲めで昨年に れてるる、これは例年に無き暖氣 出廻減少で

茂木枇杷待ち ◆定 期(單位錢) 寄付 高値 安値 大引 出來高七十

更に個別的に會見せん

満洲の物資購入に關して

| 期々の入価であるが良。

大連卸相

牧逸馬

神田ろ山

菊池實

特殊行政地域

満支友好の良き楔

停戦地區を行

次國防充實計畫

五ヶ年繼續事業とし

明年度は一億二千萬圓

首相各方面歷訪

鈴木總裁首相の懇請拒絕

紅學的立體戰展開

も参加

進められるものと歌られてゐる にの和平手段は失歌し戦のは総々

ナン佛空相

▲郡山智氏(高鑑理學)九日午後四時五十分大徳・裁列率にて遼

速入産策定)天津基督教青年中

層陳錫外二十名

米聯合艦隊

真珠灣に入港

東北京の大学の大学の大学は 東北京の大学を明して 東京の大学を明して 東京の大学を 東京の大学 東京の大学を 東京の大学を

米國海軍の大演習

閣員手分ける

政友會は斷然不參加

高高、町田の各大臣、吉田 ◆貴族院、青木信光、馬場点一、新くて岡田、内田、後感 水野課太郎 水野課太郎 水野課太郎 水野課人の語)

を常同約一週間の豫定で新潟港税

チ・ソ

兩國間にも

紹介著書

アメリカで好評

林勝一郎氏(沖電氣研究部長)

半

デ

ラ

ク

川昌二氏(鵬東軍經濟順問)

歌吉氏(大阪)上火災事務)

満

乘用

自

動

車

役)同上

计院

ラ

リ顧問の滿洲

渓に慶鳴戦 シャン散話に同ふものと戦られる・ホノルルへ 附されてゐるが一路北上アリュー

互助條約を締結

内容は佛ソご略同様

伊工兩國和解

商工農業六十萬

ア季賞と伊國順安戦と暫見する智にの妻みを乗てず、近くエチオビ によくエテオビ により エテオビ アーマハ日殺国通 エチオビア 天津暗殺事件は

昨年の渡航約三高

物次郎氏(東洋社会取締役)

8

國

方

▲ 趙宮乂吉氏(第一生命營業) 後) 辰上

▲コツホ氏(ドイツクルツブ會社 ユンケルス飛行機會社日本總代 理店長)同上 「種店子郎氏(同上營業部長)同 「種店子郎氏(同上營業部長)同 第一郎氏(承德稅關長)同上 解战氏 (前大連市會議員)

以

向上 「津十郎氏〈大連協業銀行重役〉 長)同上 長)同上 26世紀百) 司上 紀城司郎次氏(在瀛洲國日本大 紀城司郎次氏(在瀛洲國日本大 中質一氏(大連邊院) 同上 太郎氏(大阪村土木主事)

親日一競態の暴露

我上海武官室の見解

東

貨物乘合自動車

平佐)同上内地へ

ジ

ツ

K

において國感報性は胡恩溥氏派

を重選東ホテルへ 大量では、COO司令官) 大量では、COO司令官)

*

に割み出して之を根絶する事が に割み出して之を根絶する事が に割み出して之を根絶する事が

延いて支那一般大衆に真の福利結局日支網條調整の正道であり

安康保に富つ

連難原凶 か遊離兩氏が平

の非武装地域によって新るに、要するに

駐支公使館昇格

有容公使歸任後實現

は見られない

動した有言駐支公使はの上多年 月下領班至六月早や諸田の上多年 の凝綻であつた駐支公使館の大使 の凝綻であつた駐支公使館の大使 議員 かより整備出来水彩有吉公使は初、木主

入三部河丸で來運した。一行は大木主事藤井淵太郎の三氏は九日

の顔なんてクシャ

| 大阪|| に見弾はれたヒ

三日支那の一般情勢報告のため臨 野した有言語支公使はいよく~本 月下領班至六月早々歸任の上多年 の凝穀であった眠支公使館の大使 の解教であった眠支公使館の大使

一部、哈爾语に明ふ書

のため山崎理事を伴ひ村十日の像

形の虫子し始まり(これをおり、形の虫子し始まり(これ)

リー 一崎いてるのもある。 先づ並べて見た 山人形、コック

難りないことに於いていづれる ドイツ、和脳策に転向かっ

貝反

支

店 5943

店 哈爾濱中央大街一七

ゼスラルモーダース特約店

35年新車到着

支 店

本

店 奉天加茂町一四

T

5865

大連吉野町八一

電(2)9294

新京入船町二ノ三一

文

秉 德 洋

一君と川蝦攻子懸の総合は奇挺。 そのヒットラーがベーカーをお

合言

社資

我政府前途に重大關心

億元起債

支那、借欵申込

邦人兒童激増し

部書奉載式學行

學校を新増設

満鐵追加豫算を計上

女慰佼、奉天に郷二中慰佼の新設

一般既便在奉甲の日極は次の通りで直にヤマトホテルに入つた。 なほ

山氏は右記念事業 ため金十萬風を欣然とし

雲南省境に迫る

を弱つて元てることになつてるる

大連市朝鮮

和八

日滿緊密化訓示 九日州廳々員に傳達

涙ぐましい活躍

配車、

運輸漸く圓滑

興安教員代表

小林侍從武官

の訪日印象

のお子に難しては九円一形の既が明世を行ふたとしても七、八歌町

(那の自立更生策

營上の要項重要工業經

黈

說

和

内以行十五

ではないが存在

り巨大にして微酷

楽はあま

滿洲里會商

早くて本月末

胸底] 企業会物

換ラ停止ス 横三條三様リ昭和十年五月二十 は合社定数第二十條三様リ昭和十年五月二十 は大名義書換停止公告

が科の医

京計 金六三、二三九圓二八学 東京八日 金 五九二圓九九就 東京八日 金 五九二圓九九就 東京八日 金 五九二圓九九就 東京八日 金 五九二圓九九就

五月八日

大連自動車株

慶灣義捐金募集

るまでには可なりの日

行を訓令

初を遺製時招を人職りよ場本の萩州長 来御に當葬側の見花倒。非是たしまめ

英國キ

ルビー

會計謹釀

國皇室

御

T S

軍機式會社指定養成所

奮つて御賛同を

送締届金額 財切 方期 活出 先意

日を傷寒すべく戦命を凝したとの傷寒が散乱を行び縁氏一般に 記念公會堂 經費十萬圓追加

ア大將参內

al 羽月商店

芳香佳 ロン 味 の用

ノードライ・ジン

DRYGIN.

GILBEYS

被行人 · 祖 和 和 一 和 一 和 一 和 公 告

DRY GIN

GILBEY

GILBEY'S

FAMOUS.

大連市監部通り七四

新 電話長二・四八〇三

湯洲總代理店

土地制度を確立 監等本格的事業の途行に

天ぷらと 經大阪料理 鈴木勞働代表

平

にてモスクワ経由當地に到着

でおっぱい

of

Joy

腎臓病に王蜀黍毛

日本橋薬号

裁断師·未津秀師

赤津洋服店

でサービスいたします

世界各國酒類。食料品

滿洲經由歸國

だがい の 八は 動いたい を を たい を を たい

the Taste 本日大連神社大祭に付 山本各地名産

珍

謹而休業仕候 宅 9 店

經濟事情は

果して許すか

當局の否認的口吻

が話題にどり、それがまことし

同に像達された、右側ボの趣旨は「徐下屋田より右の趣旨を一層/飛騰像議室で依下展館より慶興」「層の努力を要望したもので傷管感への側ボは九日午前十時より」の一般の黙認化に對して各段

で関連。船中交々左の如き熊想

九時二十分影別車で哈爾濱に 連、順東倉庫に一部を見載の上、午後三

御家庭でり寫真は 奥様の

三時四十五

御手で

連月入荷の新型力メラ

る現無順見要敵 から漸洲を訪れ から漸洲を訪れ

局では臨時列車運転の電闸を進めを訪れ関級沿線を観察するため郷

満洲國内に

派氏は今何ほ

を訪れ國線飛艇を視察するため總引揚げたが、その他の曹継継銭校彰玉龍線察職二百名の大勢が粛洲は四ケ弾車に分乗して賊に本國に土艦影響監三百名、七月には中京。その他のソ戦人を合して約七百名

毎日卅乃至四十團體

滿人を風靡する

を演派化した中うなものできまに流行した「幸福のはがき

を以て人心を撹乱する行為では時節機は

殿軍取締方を管下

を通知して来たが値かに一ケ兜戦

富局父異常の緊張を見せて影偏の一局ではその管内の治安の 横行趙々として傷へられ各緊緊筋 華天市のお豚下を守る製

高粱繁茂期を控へ

瀋陽縣警務局

連鎖。幸福の呪文紙

人突破か

が一時に押し寄

等視疑點は吉城、ヘルピンを視察して取内にラウドスピーカーを設 して取内にラウドスピーカーを設

され郷次満人の間に恐ろしい。
立に城外北紫鉱遊航に半紙六
の奇怪な印彫物が盛んに懸布

同職の文句を印刷にし一人未配には

物の内容は呪文めいたもので勢ひで機がりつくある、比略

の家族の外知己邮廠までも
家族、百枚撒布すれば自己
家族、百枚撒布すれば自己

心攪亂だど御法度

市省と目される北陸部道東、

殺到する視察團

が、今になつて見れば當時十里當時の思出を新にした

が三十周年に蒙る今年、 制造を が三十周年に蒙る今年、 制造を として経戦した

心で■位三十七年日素役の高時管理人をしてゐる田中辰をし氏

河東方村二里半の大学部落に

元陸軍步兵

明治三十七年日富國交配計

いまでは、 リ帯當局の 之等引動け を表示をしないもの」多いのは

ので総路局では今の他何時

はならぬとしてある。

用院宮殿下 には明治三

状で脱落に赴いた論り問題を受け

若返りのホ

毛

携行の木標建立

電を見げて波蘭して來た 「題王殿下の御香油遊ばされた御事職を保存し旁々ご手戦な」 「一題王殿下の御香油遊ばされた御事職を保存し旁々ご手戦な」 「一題王殿下の従卒として從戦した往年の勢士が三十周年記」 「本

保存したいが現在その家が存在はれて來る。何とかして永久にり當時の親王殿下の御英委が偲 現地に行つて見ないと判らないしてゐるかないか心配だが九日 持の木原

る事なかるべし 依て 弦に怖

が近く拳天像西工業島に出来る影話しやうといよ。いと眺かな工場を合ったなのたホルモン戦をふんだんに

高廉職相の若込り秘薬とし

ば十重質にあるのに配み今更の部に市城の治安に耐大なる影響を及

ところはない調です」

し殿真生が

態匪城討伐のためこので、東州特別教を強力した。

響祭大隊を編成す

ることになり

奉天に制

聚造工場設立

会に難てるために来講したのであ とある緋札で、これも往時の御宿 る(寫眞は田中氏と木碑並に佈告

新京で創立調査を贈さ朝日通常町町高圏(四分の一搬込)の興じ製町南島圏(四分の一搬込)の興じ製

をしちち一小脈は臀脚脈に置て三 人が至一四「人)を以て一ケ中脈 人が至一四「人)を以て一ケ中脈

者を献出と態医 は 地名の素行を解謝され、

真生に挑濫して臭れましたの

力を構成、外にトラ

國立博物館

(事天) 満洲面々物院では大同二年春郷豊五十齢高元を投じて奉天年春郷豊五十齢高元を投じて奉天年春郷豊五十齢高元を投じて奉天年春郷豊五十齢高元を投じて奉天 十五日開館式

THE PARTY OF THE P

日は一般に無料院がする野である。現を壁行することになった、御いって、の歌の代表者臨歴の下に盛大なる開館

所代表者奉天省長はじめ日瀬各機 終了か見たので窓々来る十五日政 のでのでのでのでのである。 では、「一切ののでは、「一切ののでは、「一切ののでは、」

夏防特別大隊 編成行はる

世上り談可書み、目下敷地問題で 上地飲みが、既にと変滅を強げつよるが、既に接受職の表面と交滅を強げつよるが、既に要求を強けつよるが、既に要求を強けつよる。まれば六月からでも工場重要に書業部大きもももるまでに要価が整へられて

車は二百を以て編成する散動性はツクニ悪、サイドカー一悪、自戦

成の方法を以て編成される
は、下川、共戸、小野、佐郷の各上、下川、共戸、小野、佐郷の各

图體往來《八日》

一般前生は穏盛らず法線を吹き始になりました」

か」と王丘が跳れた

場当子へ振 二一列車 名 撫順

・ 東西業生五七名 三四 秦事學生五三名 生五二名 二 列 生一四二名 二四列 學生五〇名

地生五四名 五一列車 一 二二名 て大連へ 1111名 111 一紙に此處に来た代でせり」 事も職態線が螺旋人になつて臭れにしてゐます。剛家との今度の魔 「それ、あの時間とかいる最人と

乳母が子供を抱いて現れ、嚴貧

正一七〇名 八四年 二五列車に 他を」 やを」 王仁は兄に目眩せをしながら言った。 「兄さん、あなた記憶されてゐる

四五名 一九列車

大つてから話はまた概けられた。 「今年は湯知殿は武殿臣に任命さ王徳がまたロ火を切つた。

八列車にて翻

うな交響ばかり及配させ、現代的 ですよ。湯知殿がこの前試験官に なられたときには陳原な骨重のや 用しなかつたのです したね」 れた二人も

列車で新

紹介

職が増加した
職能が増加した
職能が増加した
職能は、年々多数の
財政として日本人を採用して欲しい 神秘境·閭

五 部方面は最近治安の無便するにつ 資本なものは多く地方の農業に催事していて、 たが設も、著しい理能として同方 なり資本を持つて経歴するもの可 だが設も、著しい理能として同方 なり者本を持つて経歴するが多少 あり多く之等の餘裕ある鮮人は 性 なり多い(3年取る) の野田があった 大小料理底の如きも歌次戦人の手間のに逐年取る減少の傾向を辿っ にあり彼等も新興領遣に乗って悪い して日本 大小料理底の如きも歌次戦人の手であるたが満洲國政立後何東影響の 動たる意象を示してある

本人である以上 本人である以上 本人である以上 である以上 である以上 である以上 でするが故に、 満洲園を おびは ここと できるが故に、 できるがない。

■ になるのと思いますが―― であるべき膨慢ですから演別園に する思君愛園に 日本帝國に對する思君愛園に 日本帝國に對する思君愛園ともなりませらが、する思君愛園ともなりませらが、する思君愛園ともなりませらが、する思君愛園ともなりませらが、する思君愛園ともなりませらが、する思君愛園ともなりませらが、中にして、一にも満洲人と思いますが―― は他の中には他のなにして、一にも満洲人と思いますが――

五千家族

つた演縦線を中心とする北満東
及牡丹江を中心に分布されるがこの為め雅ど住民の増加をなさな
い解呼である、彼等は主に一部に関する。彼等は主に一部にいる。

性形法を中心に分布されるが、彼等は主に一面

お互に日本人

「病患の時期が野來したので各撃役」市内室町小製役に魔を患者が發生」の受力順大を構れ一年生怨態。山【新京電話】新京では小型兄前の「警局では歓渡中であるが去る四日」の帰病者あり室町小型校では雁珍

れでは日本帝國臣民の一人として

◆…たとへば、影響從素質な

務所庶務主任 山本一市氏

嫌を眺む結果が、斯くの如き始末期することなく、瀬洲■のため思

の如きも影行不能に陥るではありの如きも影行不能に陥るではあり、我が憲大なる植民政策

濱綏沿線移住者

一一一云はれてゐる

麻疹患者七十餘

室町校一部休校

三十八名で他の小學校にも若干名 の生徒で催るのは輕微な上類の中最も罹病者の多きは室町 医本間幽師は融る 大體原形電影数七十餘名に達 しめる事となつた、右につを放の罹病児電影数七十餘名に達 しめる事となつた、右につを放って、大體原形では現る かまり 大體原形は融る の生徒で催るのは軽微な

一日に三百家族

潑剌たる新興氣分漲る

勝山洋

縦の脚山を彫く昭がすると 映像で 唐く知

時三十五分川車で新農學校生徒一行五〇

正小學校生徒一行一五二正小學校生徒一行一五二 の文章は常

二〇四名 午前六

それが展出で今度は試験官に際せ 無のある文章を採用しませう」と ましが書つた。 まい。お祭あ

にしてるます。 剛彩との今度の歌歌をやつたことのある巻人で、此歌の歌知殿とは熟意な開梶です。 悪意の湯知殿とは熟意な開梶です。 世帯の かんだのが動機で、 熟意 で、此知 共を景盛に起降ふ位は常然のこと と言つてやる處で

に塞地を求めればならぬでせうか。 方位の好し悪し、それから祖先の が他の好し悪し、それから祖先の 生に向ってから言った。 申されました」 を省域に連れて往つて 印那様の壁

間家との総組をさせねばならぬかない。 教男を管城に連れて往つて ら、弟のことはお二人にお委せ 歌地を覚取らねばならぬ。だ を認にはゆかぬから、別に塞 を認にはゆかぬから、別に塞 れは私が闘つてから相談しや

そのまと一足先きに歸った。 語し終ると彼は一揖して起上り 乗員があつたので委員が質して 見た處役牧されても二足位は残 るだらうと云ふ返事で笑はされ たが之れなどは明かに不歸國祖 のいたづらだらう

(圣)

を記れ、園の賞には家を認る」と きつてゐる。私選が赴戦に鑑つた ことは郵廷の大戦に際じたためで とは郵廷の大戦に際じたためで

まい。 酸へは慰老師のやらに、 対きに離見のある方が一等で採つた れてこの法脈に適つた大

来一層の御後援を懇願仕る次第に御座検 型市小生今回少

しく感ずるの所有之酸心して縁故深き會社を退き道を

皮肉能りに説れた。これには半年から、工徳は は所様な人が及郷してゐるでせ と観賞生が反駁的に言った。戦

お歌か月を歌館した上、郷者と心が、一度會つたよけで夢知の如くが、一度會つたよけで夢知の如く で前低の撃撃、彫老師 まないこんな話をしたのは王の兄 をきに二等の外で及郷したのを知ってゐるうちに彼の心が分つたので こ人は話を動い であるうちに彼の心が分つたので 海路は、間となり、 一面は 改造

家心事件に頼じた。湯知殿が激怒か飲み乾されてゐた。話は前日の

したこと、一般くなった當家の主人

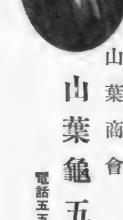
となどが、王家の二人の兄弟から となどが、王家の二人の兄弟から 湯知殿に合って、王小二とか透ってすよ。若し拙者が家に居たな それは弟に荘解がないか

れなく

香娘を拙者の次男に変らせること

統の紋を結びたいとて、老師は二

居 題





電話五五七三番 五



ざる所に御座候兹に改めて永年の御芳情を謝し併而將 に到り候は偏に各位御助勢の賜ご深く威銘威謝に堪へ 位の御聲援御鞭撻を添ふし御蔭を以て會社今日の隆盛 を見益々其雄飛を巷間に期待せらるゝの活況を呈する 常務取締役兼大連支店長こして在職中は一方ならね各 陳者系機過ぐる拾數年の人しきに亘り山葉洋行

去の貴重なる體験を唯 後進に譲り候と共に過 一の基礎さして獨立獨

歩以て聊か斯界に微力 運びご相成申候間何卒 備を急ぎ居り候處今日 而して著々これが諸準 を致さんご決意仕候 御指導御引立被下度偏 漸く新裝成つて開店の

依賴労々御挨拶申述皮 先づは乍略儀以紙上御 如斯御座候 に奉願俠

新京興安大路四〇八

三日大連に際在し新京へ附ふと

來順。八田道蘇副總裁を始め

平民

门

注目する加奈陀

下見に商務官來滿

刑丸にて来連したが脱

合辦生保設立問題で

阪海上火災の労働資政吉氏は融るの質め九日人と一河丸で来達の大

災保険の統制に属する無政會田院

満洲火保統制は

容易で

てない

伊賀火保代表談

矢野恒太氏ら來滿

8

満洲特産に て満洲國、軍部則と意見の交換を 日南合脈生保設立に隣し新京に於

命保険職長矢野軍大氏は李夏野村 電影形態是常同九日人街鄉河北高縣的百月勝太四日市岡秘書

日本側の營業繼續を仄かす いふ語もあるがこんな事は思想の度合等のため時期尚早だ

来す順係から一應日本の**一**相場が観然とせずこれの機算に困難

大豆は軟調 高粱は底堅

大連輸出數量 四月中は激減 一成に引載き述くポー

が期に配せるも満洲が置の輸出議 根少を至し、各仕間地別に**戦**れば 港の輸出機関 支那向は前年の二割 題、前年に当比し八%の減少を 九日前場の大連特座市には休日を空へがら保合とながら保合とながら保合とながら保合とながら保合という。

をして知られた矢野者として知られた矢野者 で何となく無薬海と見たは即日

おびしても 前

等型 选台創榮 品質升目確實 配達迅速 照問為巴蘭炎及赞高丁良呼吸器。為此器慢性病

名時はやられる、

写 っが内蔵定期航空の旅客機が は変質量の親分にも何らず 一般に満洲では……」

| 職工献名はでは、フォッカー式中 現在航空部はで使ってゐる飛行

近行機能の暴励はまだ!

と、同社パンブレフト 同此パンフレク ト「空の路」

るやうならば反回

添洲商社のマ

同社のマー

現在における応野教会を懇迎後七 の最初の會社として奉天商埠地五

宣 萬 **國** 詳細無料送呈

本の (現地では 大引 () 1000 () 100 期量位置

●職後 出来不申 職務共に八分一高、日田賞養同事 職務共に八分一高、日田賞養同事 職務共に八分一高、日田賞養同事 をは現物であった 三十八銭であった

近江屋商店通價部

軟 た 性 等 病 病 病

株界ニュース

埠頭着荷減少 松花減水で輸送つか 倉庫滿腹收容力な

川神戸海上事務上取締役。伊賀

(四)

論議するのは不得策

國際貸借のバランスが問題と

一荒川、竹內關東軍顧問來連談

て均能を保てるかにあり 心を置いて世界的な状態 た方法が考へられねばな

滿洲國通貨問題を

大阪期米 前場市前場引 前場市前場引 元之 服 2000 2000 2000 2011

て一腰の生気を見た

計 社 化 他 社 相 根 線 10 () 高 月 10 () 12 至 月

の不足その

他を考慮して他線

蘭印ミ滿洲間に

郵便爲替取扱を開始 し される 体定である に依り満洲の投資状況視 シ国一行着 大豆低落の流気を

施したい旨を申出で、その後無目 が既正願では日本を仲介として實 が既正願では日本を仲介として實

産業、史職等を記録見撃の一行は六日着率以來奉天、

る五月一日から南國間に本取引のる五月一日から南國間に本取引の

金二、大公之枚四、大大、白宝鱼鱼

各市場休み 十日は大連職職事を大窓に就き駅 行及び特選、経験、株式、監各

期 野 銀 石 加 九 九 大 番

白米下落相場は

連鎖街の間屋大島屋 電三二一〇〇巻

質職・血壓を婦人内科 肺尖・肋膜を慢性諸病

シャム舞踊團

延期のとむなきに至り

教育等一概に言へば討鹿の一。

んめにも様々の對策を講

訓練青年の入所

中旬ころに延期

中堅青年養成の意氣

金井總務廳長視察談

更に借家人の客観的情勢がするでなく本年は金融が風滑に移

全氏で廿日頃 育田の 像定である

巻口】 巻口港經由の出入苦力の

以疾**拶、**뾺痕、樹植、記念撮

【奉天】 ※る十日午後二時より

二十五日に延期

蘇家屯の詐欺

警務聯絡會談

から怪人

識沙河口工場が二ヶ年計畫で

の强盗

殿殺

出入苦力激减

營口

北安に强盗事件頻出

之等の限因は入禰祭

職つて派次慶村の自力更生を融るの擴充を期し訓練生の人員増加を 蜂を飼

奉天省公署が實習所 北安の植樹節 あり或は同一班人ならんやと目下「三着 飛行材料」で嘉文市螺統一名を繋げ即死せしめた事件、二着 池田洋行中村定美道中栃橋一人の満人が離り出で右 物間山純男

リ 県間の往復長組織数正大意を と監督であつた。入震者左の如し 一者 ニ十二分三十九秒鑑路局段

【チチハル】北瀬洲日報社にて

長距離競走

所局で戦車取調中である

式順に依り式典を行ふが式後駆公 月二十一日の同様に 今既右笛木兜と跡着したので九日苗木繁備の都合上延期してゐたが

銃後に光る純情

ーイング

重十名、

温音補一名、

温清十名計

では今回左の如く

温清十名計

縣風城署異動【鳳凰坂】

慰問に添へられた手紙に

駐屯軍の将士感激

技術優秀者

拔擢主義

國鐵滿人從業員

【吉林】 吉松賞公署では去る二 野に賜つた讃劇の各郷長に點す 変に賜つた讃劇の各郷長に點す 各々招集電報を渡した 詔書宣達式

『事天』 國際商人從業員五萬人の

匪賊ご復讐戦 処理は脱線し

圖寧沿線に匪賊

何れ

も掃滅し盡さる

金と肥散増加し、各地部を製成した。 の元酸に製日なき酔素線には転近 の元酸に製日なき酔素線には転近 の元酸に製日なき酔素線には転近

路の破壊等相次いで起り〇〇

近く新京滿鐵運動會

バス 最本間

大三(合名会神新京岩松町(丁目九番地(タイヤ街)

スた

京

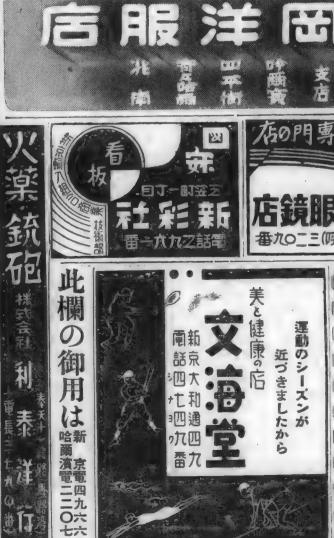
出

F

で海水主要等その間で対な機像が で海水主要等その間で対な機像が で海水主要等その間で対な機像が 限つて女妻ヶ島の 雨期で雨がショボショボ 下つてゐるので

種



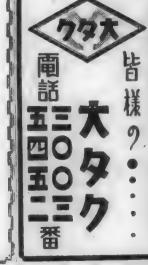












医携帯と經濟と経使とを E

HH

の新築を繞り

童子團聯盟

勅語捧讀式

七日盛大に擧行さる

列車妨害の

犯人は子供

軍なる惡戯

形 田

『護聞り附近において鑑道機路上 に控へてゐる

女房を絞殺して

満洲に逃避

元司法主任捕はる

金融の廻轉も至極順調に

職しとして ・ になに、 にないでは、 のあつた (のあつた (のあつた (のあつた (のあつた のあった

の総てを剥削され戻さへ観光機年の膨鳴と昨年來の選供に出

井上官主歸省

では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ でが ・ でが

時、原平戦年前十時、午後なったが法庫破年前八時、

署に於て取

問題行中の階級節松旭繁天鵬は八【北安】先日来チテハル駐屯軍隊

一萬圓也

舊家屋の改築時代

開

彩、一切揃へて、それぞれ作つて

さに從つて四十銭位まで、また東但し一本等なら一間の五銭から長

一流の学師の假になると

先づ

形はいろくですが百本につき 並八銭から上二五銭 立一銭程度、最大で百匁位のま で

・竹枠(糸を着くもの)…二鐘

問

日

道具一揃ひごの位で出來る

未經驗者への釣案内

るといはれてゐます。そのアカシアにも、

の健康法は仕事に疲れた人へ、朗らかに呼びかけます。
なこの頃、大きな風景の中へ糸を垂れてオゾンを吸い野趣満々なこの頃、大きな風景の中へ糸を垂れてオゾンを吸い野趣満々

しす ツ趣味の盛ん

「味です。 「なるもの――だが、ちよいと歌 と恋ちバチリといつて でいるもの――だが、ちよいと歌

液・揮奏治など使つて洗ひますが 歌・埋奏治など使つて洗ひますが

のであつて、且つ裁判所の許可を要するからでもし

依るのであらう。

取るが爲めにはこ

(二) 巻に合さない なめし革で拭きます。口の細い粒(二) 決して熱調を注がない などは中に飛機を強いたもの、かなどは中に飛機を強いたもの、かなどは中に飛機を強いたもの、かなめし革で拭きます。口の細い粒 そこで、すべてガラス器具に對し (四)すべて取扱ひ萬般に亘つて 織に含ませて隅々まで洗ひ、番手軽でいるでせる。既後も

が襲撃地の市町村長に風出づれ

用しますが、これらを確へ付けて「動ねないことをお忘れなくが大切です。さて使れを除くには「繋かな戦、布で眩んでから以上の社覧をおろそかにせぬこと」は彼はないものですから一 ひするか解析のブラシで流ふか致 彩かな戦、布で配んでからお仕郷

/煙幕/ で霜害豫防



と利用しオレンチ畑の報響を測版によると監察は上方の受象を測版によったのででは、 畑一郎にからしい成盤を挙げた。 畑一郎にからと監察は上方の受象を測版

それは美人でなけ

戸主は分家できるか どんな手續をとればよいか 居るだけです。また月難を脱離よ 総合せしむるものであろ。 ・横をとればよいか でをあけ一卵の土産をはめこみ、 でをあけ一卵の土産をはめこみ、 がをあけ一卵の土産をはめこみ、

はづれない入れ齒

はませう。長い方を普通より心においら裏から一ひねりして当けながら裏から一ひねりして当けながら裏から一ひねりして当けながら裏から一ひねりして当けながら裏から一ひねりして当けながら裏から一ひねりして当けながら裏から一である。 み、その輪へ短い方の端を通し つて来た輪を前の指先へはめこ

これは!思ひつき!!

胴卷の近代化

こう。ことなるのは短い方だけでこう。ことなるのは短い方だけで

が終設されるが、 いきを をなるにつれてゆし なるにつれてゆし なるにつれてゆし

大のボップ・ファ 大のボーになくて はならぬ 解極を近れくて はならぬ 解極を近れる

一端られてはいけま

ここにはアメ

を入れようと様主 まちがひない。

メイレンの市場へ

案・秘密のバ







13▲小運動會(管製)▲保護者 ◆駆校行事『十一日・土庫

と動物室などから丹念に南京

庭

TO TO

風や南京配は書あつて益なきれが勝戦になるといる世界もれが勝戦になるといる世界もある、満洲テフスを繋がするある、満洲テフスを繋がする 砂る日があるが、風や南京館 殿に用ひる南京都等、満場 寄生虫相場 馬鹿にならぬ 七厘線に離るといふからナン た歩く。興味ある風の相響は 人部落の間を風、南京都質ひ 配足りつこはない。そこで せるが、一日干匹となれば野 歌を遭り出して研究地上に上 高いものではありませんか

洲

語制定の緊急

桝一杯五銭から十銭位まで ではない、そこで入野となる は平生から登成してゐるわけ 達、南京龍の値をせりあげや さらな。どちらが寄生器なのがある か分らない。 このごろでは味を占めた前人

新作 ― 教前の野及を 指すのである。画話を は満洲園の女怪趣感、

版に標準配として

の差こそあれ、研究の別は例ある

舟賃 は一時間二十段、一つて來ませら。 すか。(大連・TOE) 分家出来ぬ 但し方法はある

五

カシアの花咲くと

ンになりました。ロシア町あたりではあり季 八十八夜が過ぎて、いよく〜約天狗待室のシーボ

待望の。釣シ

海は招く

太公望黃金狂時代

訪れてきた

くりめばるグルあいなめんが釣れて

◆…生かし網…並一五號一二五號 ◆…タモ網…一五號一二五號 ◆…タモ網…一五號一二五號 ◆直具(針、糸、枠等)入れ…二 ○鏡一二〇銭 ◆エサ稲…五銭一二〇銭

第し帰ひて家籍を書脱したい事 情があるならば、方法はない認 即ち費下が滅六十年未滅ならば を選することは困難であります もありませぬが、手間上目的 ず、文章艦は、自ち別

硝子器具の

手入れど保存法

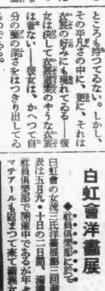
亂暴に取扱ふこ忽ちパチリ

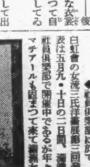
食卓用品心得帖

で、バタカップ、ガラス眼、一摩擦しましたら、あと海水で洗つコップ、バタカップ、ガラス眼、一摩擦しましたら、あと海水で洗つ 戦所の許可を得て聴居をして 製所は貴下が已むを得ない 洋諸國に於ても、その

せぬ。殊に態居に因つて新に戸出来ない理由がなければ許しま が、あまり、本にも二、三主演映画 畵

リイで彼らしい情報的な描言







に、細い

を持つた人で





でれてるる。

一の鬼たらむ! れ美しき復

て最も貴いものは何 つる物語(學界の卷)

げた身だつたが型くも運命の版の小説の世人すみれは高年弘治に身も心と

が目立つものですから今からが目立つものですから吟歌するほどだれ の内に低日お米のとぎ水でお 原職は民俗弟だけで兩親もなく、 民職は民俗弟だけで兩親もなく、 日

本テグス十本に

◆無郷・一五銭一一・四〇銭(角型、二重釜)→四・○○(内地) 主でも現在の樹なれば分家出来まて居ます。分家したいのですが月 事元融明は**直影役場より**取り寄せは何の音沙汰もなく、戸郷謄本や 現在親子三人で原籍と

を職にし要になる大切な部分にで十割通りの紹び方があるといで十割通りの紹び方があるといでも最も普通に行はれてるる短い方へ長いのを響きつけて出来た紹び輪へ長いのを職から通す方法はネタタイのを職から通す方法はネタタイ クタイは現在知られてゐるだけ得てゐる方がありませんか?ネ 不クタイの結び方は一通りと心

ないか、最近観覚 まつた、といふの

この人は難りこそ

…和田邦坊

させた大ギ

くのであります。

したがつて、種々なる胃腸カタルに對して、

消化力も増加し、便通も適度となり、

別に對症的な化學學

炎

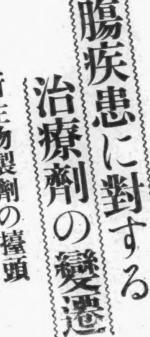
んてきます。これが新生物製剤として、「岩素(わかもと)」の有する症による痛みも消散するといふ風に、治療の効果は病症の全體に及

獨自の特色であります。

种低

素(わかもと)」であります。これは豊富なる栄養素、酵素、ホルモ

するので、胃腸カタルの諸種の症候がおのづからに減退、治癒に赴 ン性物質の綜合作用によつて、胸機能の衰弱を恢復し、異常を匡正



新生物製劑の擡頭

理と樂理に立脚する、今までの樂剤とは性質のかはつたものが効果 を認められてきました。 性のもの、潰瘍性のもの、消化不良性のもの、神經性のもの等色々 勝治療學の進步に伴つて、腸治療に用ひられる樂劑も、新しい病 あつて、それに適應する薬剤は、對症薬をもつてするならば、それ く、異つたものを與へねばなりません。例へば、炎症性のものには 大硝酸蒼鉛のやうな庇護劑、神経性のものには阿片、モルヒネのや うな麻痺劑、消化不良性のものには、デアスターゼ、ペプシン其他 一口に腸カタルといつてもその症状は干差萬別であります。炎症 果がないばかりか、却つて有害な結果を見ることすらあります。 原因的効果を具備する生物製剤の擡頭がそれであります。 これに對して特殊の療法を開拓するものは、新生物製剤たる「若 一適當なる消化剤といふ如くで、もしその適用を誤ると、 一對症的効果を主眼とする化學製剤に對し 等を來し、或は皮膚に養麻疹、ニキビ等を發し ては血壓亢進、血管硬化を促進し、 ては容色をそこなか原因となり、妊婦にありて は姙娠の消行に障碍を及ぼし、 の概き、まことに寒心すべきものがあります。 ては屢々咯血の誘因となる等、害毒の及ぶこと **强いて傷の蠕動を昇進せしめ、或は分泌を増さしかるに従來の下劑は、機械的刺戟によりて**

を催さしめるといかものは、新生物製剤たる。若 素(わかもと)」であります。便秘をすると、 内の細菌が繁殖して、毒素を牛成しますので、 例へば乳酸菌剤の如きもありますが、「若素(わ この細菌を殺すことのみを目的とした製剤 かもと)」は乳酸生成酵素、又はエンド・トリブ あるのみならず、乳酸菌劑に有せざる諸種の消 シンによつて、腸内の有害細菌を撲滅する作用 化酵素、栄養素、ピタミン等をも有してゐます からその効果は膓疾患のみに就いても遙かに汎 いものがあります。

を促進します。また離乳期の食物變化に

對する防護薬としても推奨されます。

便秘であります。便秘は傷の障碍ではあります に止らず、脳神経を犯して、頭重、倦怠、不眠が、その害毒は単に便通の不通といふことだけ もつとも多き臨疾患は

良は大人のそれに比して急性的經過を採 り、且つ全身的の築養並に機能障碍、食 方不良を伴ふため、症狀も屢々**重**篤に陷 敏速にして、 り勝ちであります。從つて、その魔置る 同じ消化器障碍でも、乳幼兒の消化不 てありますが、家庭に於けるそれに併用 する療法としては『若素(わかもと)」の服 用が推奨されます。醫薬を併用して何等 勿論、速かに専門家の治療に委ねべき 過りなきを要します。

適

曲・腹膜炎・鳳鷹・微熱・盗汗 結 核 性 衰 弱 肺糖核・加膜炎・膝

疲

勞

害なきのみならず、その含む幾多の活性 酵素、及びコロイド状態のまくにて含有 される人體必須の殆ど凡ての栄養薬が相 俟つて、消化機能の恢復、減退する體力の 果を助ける作用が著しい故であります。 業兒の哺育料中に「若素(わかもと)」を添 加すれば、消化を助け、便を整へ、發育 殊に、牛乳、ミルク、重湯等、人工榮 整胃腸、制腐等に醫薬を助けて効

て、膓の機能を活潑にして、自然に適度の便通 しめる等の作用によって便通を促すものであっ

消化不良

100 m

1

次 思

姓產

血、並に姙婦浮腫を解消し、兼ねで胎兒を養を維持し、悪阻其他の姙娠中毒を防禁養を維持し、悪阻其他の姙娠中毒を防禁養を維持し、悪阻其他の姙娠中のをたインシュリン様ホルモンは姙娠中のをたインシュリン様ホルモンは姙娠中の

に、レシチン、ヌクレインの如き頭腦、 他用を圓滑ならしめ酵素と相俟 で、脳神經の衰弱を恢復し、不 で、脳神經の衰弱を恢復し、不

勤勞・精神勤勞の疲勞 經衰弱

吉素(わかもと)が有する多量のグリコーゲンとピタミンBとが、肉體精神のに日本人の白米食に於けるピタミンBのに日本人の白米食に於けるピタミンBのが、殊なが、強いから、大きないが、強いの作用をなす。 頭腦榮養 長時間不服症 納經衰弱。

乳兒の發育を健全ならしむ。

策見の後前歳十・量日五廿はに人大は襲百三 歳三・量日十五はに後前歳五曜日十四約はに る當に量日十六はに後前

圍公芝市京東 元 賣 發

會の兒育と養榮 謎

「若素(わかもと)」に 代用薬なし

有名業に類似品の輸出するは免れぬ所で若素にかかもと)もその例に洩れず諸種の類似品が数を、いらの類似品の使用を勤める薬店もあるが、最も醫業的價値に富む特殊なる菌種を專賣特許下に製劑したものであって、外觀形態が類似品が数下に製劑したものであって、外觀形態が類似品が数下に製劑したものであって、外觀形態が類似品が数でに製劑したものであって、外觀形態が類似品が数と信ずるは大なる間違であります。

膓 諸 症 胃豚カタル・胃臓・ 過多症・減酸症・ 周濱鷹。 貪慾不振。便秘及下痢

せしめ勝胃粘膜を全面的に强壯ならしむで、同時に種々の相異る胃腸症狀を消退與へ、叉腸内殺菌清掃の作用をなすを以與へ、叉腸内殺菌清掃の作用をなすを以與、水ルモン、其他の綜合作用により、数種に亘る消化酵素、助酵素、ピクミ 右の諸症に 岩素(わかもと) を投興すれば、人體必須の榮養素を偏頗なく網羅れば、人體必須の榮養素を偏頗なく網羅ルシウム等をも包含せるを以て、優秀なたシウム等をも包含せるを以て、優秀なる治療効果を發揮す。 虚弱 兒詢無・發育不夏・人工築養兒

乳幼兒 消化不良•棒

十五百四萬

は更にこれを急退し八日午前四時

宮内府、臺灣へ

義捐金を贈る

九日國務院會議開催

我軍の極限に遭ひ哈爾巴爾山脈で十名を沙野した陸城一味はその味が重した陸城一味はその

野してをり沙野者の智道も今明日日産設局への入電によれば彼等は日産設局への入電によれば彼等は

| 「「「「「「「「「「」」」」」」 | 「「」」」 | 「「」」 | 「「」」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「

室伏工務員ら

中の見込みである

郎氏の葛真を見て「これは金に

全滿の精鋭すぐつて

今秋・初の内地遠征

僅に三名無事

【札佛八日酸國通】茂尻炭坑繁建一

けふは沙河口神社で相撲大會

吉郎、同松山利明の兩名は重傷を

と云つて車輪が軌候用と

費けて衝路を突走で

一兩日の中が

匪團全〜進退に窮す

あると

原醫長歸連す

日

ら研究施療患者の取扱を受けてゐた。一人の娘を頭に四人の子を縁げて居り本年二月二十日か何は同女は主人松太郎とは二十年前結婚。十九の娘を頭に四人の子を縁げて居り本年二月二十日か

期待される新京の

二科會展と講演會

三新聞社後援で華々しく開催

州

自由に走れるカー

大連、甘井子間の旅客輸送に

大連が脱で子宮殿の手術を受けたが飛艇し昨九年九月十九日熊び入院現在に至つたものであるが、本つた順をみて展望の激から浴衣がけのまゝ耐足を手焼で株つて飛峰り自総を避けた、同女は昭和八年一六八料理店舗業小久保拠太郎(『己婆さみ(『心は中央電話集館派出所附続人連載ッル(『心が便所に立九日午前十時五十分市内艦摩町漸載大連警院四階購入秘報二層室十九號に入院中の市内が河口大正道

見る

二年越し入院中の婦人科患者が

自殺

厭世悲觀の結果

利明したので九日

四月中旬頃より表場高だしく食事も傷受不能となり左脚立たず生の零みを失つて戦世悪してるた

たり今朝は經文を前に珠數で首を

前にもベッドから降りて首をくらつて死ぬ漢似を

この秋から使用

情な性格がすつかり無に入り中間 御をみた文子さんの開墾も使の組 級してるた中略君を出版後暫ら耐

をデさんの可憐な表が凝むやうになり、このほど遊に交子さんの可憐な表が凝むやうになり、このほど遊に交子さんに求なり、このほど遊に交子さんに求明時間年とアメリカ育ちの形態とのこの総婚行過酸はどう湯でられて行くか、交子さんが赤斑でられて行くか、交子さんが赤斑で

和

先衛外な結婚語が探上つた。その投資間丸で再び療米するがその矢 始め

ら中間君の腕の底に

五

婚を申込んだのよ、私まだ

25研究といよ話に價値一般近急速の發脹を避け外間の遊覧に小児科醫の開拓し様な に効果つけんとする版にあり更に小児科醫の開拓し様な 満藤像の常神的総合を一層態態的

人連醫院四階から

「新京電話」新京院交流型は六月 を贈さない現代となつた日本の試出で配も監視者が力を迷 とするもので、研究演型に先立ちを中心にして大き師に行はれるが 「中国」に日海民衆に示さり十一、十二、十三の三日間新京市 空販力を とするもので、研究演型に先立ちを中心にして大き師とが力を迷 とするもので、研究演型に先立ち 日によって

※書でその影響を一般市民にはつ 十日戦行される空中影響車に振襲

新興俱栗郡事幣の各部皆は夫々縁が野県保栗郡事幣の各部皆は夫々縁 新興事件被告 今明日中保釋か

日中に決定する響で九、十兩日中 **見られてゐる** には右十氏全部保羅になるものと

(可謂物便或種三條)

わが航空威力を 民衆に示す 新京中心の防空演習 後の軽照作業は八日整線二数の高 後の軽照作業は八日整線二数の高 数初の入坑者九十七名であつた が右を除く四十四名は今なほ生 死不明で坑内残存の課だが建設 死工中名である して居り通化よ

純情に絆され申込を容れる

米國から歸つて擧、八か

野島ご判明 五十萬元事件大量

東京九日最圖通」配調歌二の五十萬元事件は山本英之角こと職本 正日X"もが標識したこと職明、 歌の如く津製代謝士もこの趣意様 戦にかゝり去る七日起歌されたが また満俣テームも來る十二日奉天一日十六時五十分經死期で赴奉するので十一日十六時五十分經死期で赴奉する事である 東京大相撲 **夏場所初日取組**

(権 甲(出羽脈)金 淡地 大 後 **建一要集所创**

清水川(大) 海 (大) 州 (大) 海 (大) 州 (大) 海 (大) 州 (大) 海 (大) 州 (大) 河 (大) 州 (大) 州 (大) 河 (大) 州 (大) 河 (大) 州 (大) 河 (大) 州 (大) 河 (大

放送時代へ

夏の高級京吳服も品揃鷹多軍衛、西陣製的石、訪問着、紹長福牌等

プリッデを渡り終へて階茂階近で飛れた時は既にベルも鳴り終つて発車はホームを滑り出たところ、監視があると思つた夫婦はおり、二人のが兄を赤が発いて献止する間に概律り驟減いが先きになり、二人のが兄を赤がたさになり、二人のが兄を赤がたさになり、二人のが兄を赤がたさになり、二人のが兄を赤がたさいなり、二人のが兄を赤がたさいなり、二人のが兄を赤がたさいなり、

行中の列車に飛来つて了った

テレビ愈よ實用化 A社長の言明から

は真けてはるませんが實用化とか、勿論日本では決して研究でか、勿論日本では決して研究で

快よく汗ばむ

優秀生地豊富に取揃

へて御座います

つと列車は急停車して二大騒ぎの揚句、保員の合

るるが、今後 ケ年半以内に 世界中の 体温計

赤ち

向

夏

の御洋装品

可愛ら

大連連鎖街

「東京八日報酬通」右テレビジョンの製用化に就き我園テレビジョン所の概略山本忠興博士は左の知く離った なく實現

間も

電によれば七日午前九時頃電安東 地方二連神子において國連工事中 地路の歌雄に遭ひ行方不明となつ がよの歌雄に遭ひ行方不明となっ

金繋は数出され無事なること戦

で完成質用化を置つてるます、
英温でもトイツでも猛烈に急い
テレビジョンの質用化は科學的 美 い滿暹親善 舞踊團一行を歓迎する國都

製へつとあり近く 手機の戦るつ

現込みであるが、右工事に要する の常附申込ありその中のところ今月半頃には完成する に二千曹(外に権力・一八連総判職後援命では高級来録二 脱額誤解を救めつい

六月二十三日午前十時より大連▼納倉 十月二十七日午前十時よ宇よりぶ離社員クラブ聚士假で▼内地選征 十月中旬ー下旬の策

▼納倉 十月二十七日午前十時よ

滿洲相撲聯盟の事業計畫決定

特別援助金寄附 大連水曜會は二千圓を申込む

その他の向きもい

大連浪器洋行滿洲親黎图一行

實業球場改造に

る風は何國であるか興味を以て見られてある所であるが、湯細は特に日本及び新興演洲國に興味を持ち既に繁物便能として温麗國立語
ち既に繁物便能として温麗國立語
ち歌記を被して温麗國立語

画を残の上に配る始紀型を使して をの観察の政権を迎へたが、何れも この経意ある戦争に前足しきり前 この経意ある戦争に前足しきり前

大きにも世帯の人が大力を入れることのないとのようともとは日



縣 共匪

通風で態に眺らしめばス重響を企画し微樹中なりとの意識に探した戦か脱では疑惑を前九時塩造化観察七區に紅軍艦二脈約二百名が現れ山道バス線の網扇使用の電風 ス襲撃計畫の情報

大連監察脈では十日九時歌あじあた。大連監察脈では十日九時歌あじある)に分乗の上左記日程の下手のみ)に分乗の上左記日程の下 ム遠征 滿俱兩 も買現される事は配置が

報気 (日 十) 晴風の南

干潮(午前) 二時三五分

各地温度 **總京州順**型

大連栃木農場信養町市場販賣所電話二二四四〇九

して百袋を一組とし一組毎に一等一本間光面貫入一面、二等二本同上

夏の變り白生地

姜々時

荷新 别 イ 子· 紙 能

入花焼暢 生花用畫・投 類生 花多

番八七六三·二章

店約特社會子硝滿南

店賃百の品術美 辨社會所瓦積盤常市達大

御贈答に御土産に好適品揃 箱·附屬品表装漆器·陶磁器 いちはやくづらかりやアがつたし

一般設督ら巴之助の奴アと

タンジーロ紅ならば途つ 行さ見い四自然のお唇を でき色に乗らふ さわしき色に自ら變化す

ムラー マツクリーン会社 東京市京橋延銀座三丁目・銀芳閣ヒル

し勧太がちょつと敗まつて、

岩太郎の聲は濁つて酔つてゐる

かになつて來た。

かて岩太郎が闘って來たらし

皮膚精動 大連用透過, 大連用透過,

いかみのあたりはピクーへとけいい。 からなのあたりはピクーへとけいか 一郎 くに 塔へ ぬ 表記なのである。

ある。傍若無人の高量だつた。雨の場になつて一杯やつてゐるので

自由になるなら、

るたかつた。

日

KANEKO

て、しつつけえ響アだつた」 と初音は胸をといろかした。

見てやつておくんなせえ。あの野りは惜しくねえといって物だっといってがけれる能け動ですぜ続か、そりは惜しくねえといって物だ。 思がけれる能け動ですぜ続か、その美しいの何のつて、失概さんす 「ところが、ところが親分、までまられえやな」

(價格低廠)

はつて、墨の上に流れてゐる光りの筋を睨んでゐた。 ではめられてゐた。鉱太遊にさら、大浦の家のひと間に、被音は雨 間の中に、砂管は空しく たら僅かに隣の灯が、襖を洩れ

「えつ」

に身をもがいて

「そうか、俺アまたさつきお袋が んな嵌くちや響アたア事が (78)

遊はア

之

(+)

サン (パラオキシメタアセチールアミノフェニールアル 就注射二比肩シ、 別徽壽、潜伏徽憲

男性の賞譜





を要単す土西崎弘太郎先生指導創製) もつてをります。(前内務省衛生試験所に張くする永の驚くべき作用と、成分をに張くする永の驚くべき作用と、成分を 、微粉頻等の消化を挟けるリバー、でブチターゼ、ベブチターゼ、



さ等投に者物でれか奪に第方度の家器はンミロサ利命費。 すまり居てれる質販もに店臺名有の内市がすまり居てれ

.にか朗を活生てしく强を腐胃、

◆ 全窓があつても、胃が悪い く身體が傷くなる。 眼に見に を整が無くなると、顔色が悪 醫者は言 胃

弱い方は勿論、發育時期のお子達 ると、凡ゆる病気が一時にど

● 湧き出づる報智の源泉ともなる

でもある

回本



もあります、香り高い高級煙草は貴方方の氣品を煙草は嗜好であり趣味であるご同時に社交の具で

一堆高尚ならしめます

なり、元気は豪へて、何とな

九五0三番

走医院 走医院

ロつ

て

るる

服 は ◆ ◆ ◆ ・ イワキ町□活舘トナリ

能容增远 幾層倍! 頂髪が綺麗に整つて、

元曹强

店理代



商

净

社台業

- 40

資本

裥

サラツと軽い 爽やかに ゆかしい整髪美 朗らか 洗落ち心地

三十銭、五十銭

青

10.5-P.

に夫丈らか髪毛 にかやなし ドーマポ性物植純るすくし美